

上場会社名 株式会社タムラ製作所
証券コード 6768
東京証券取引所 第一部上場

株式会社タムラ製作所

2019年3月期 第2四半期決算概要

2018年11月8日



TAMURA

Your One and Only Company

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要
2. 2019年3月期 通期業績予想
3. トピックス
 - ・電子部品関連事業の車載市場への取り組み

【付録】参考資料

1. 2019年3月期 第2四半期決算概要

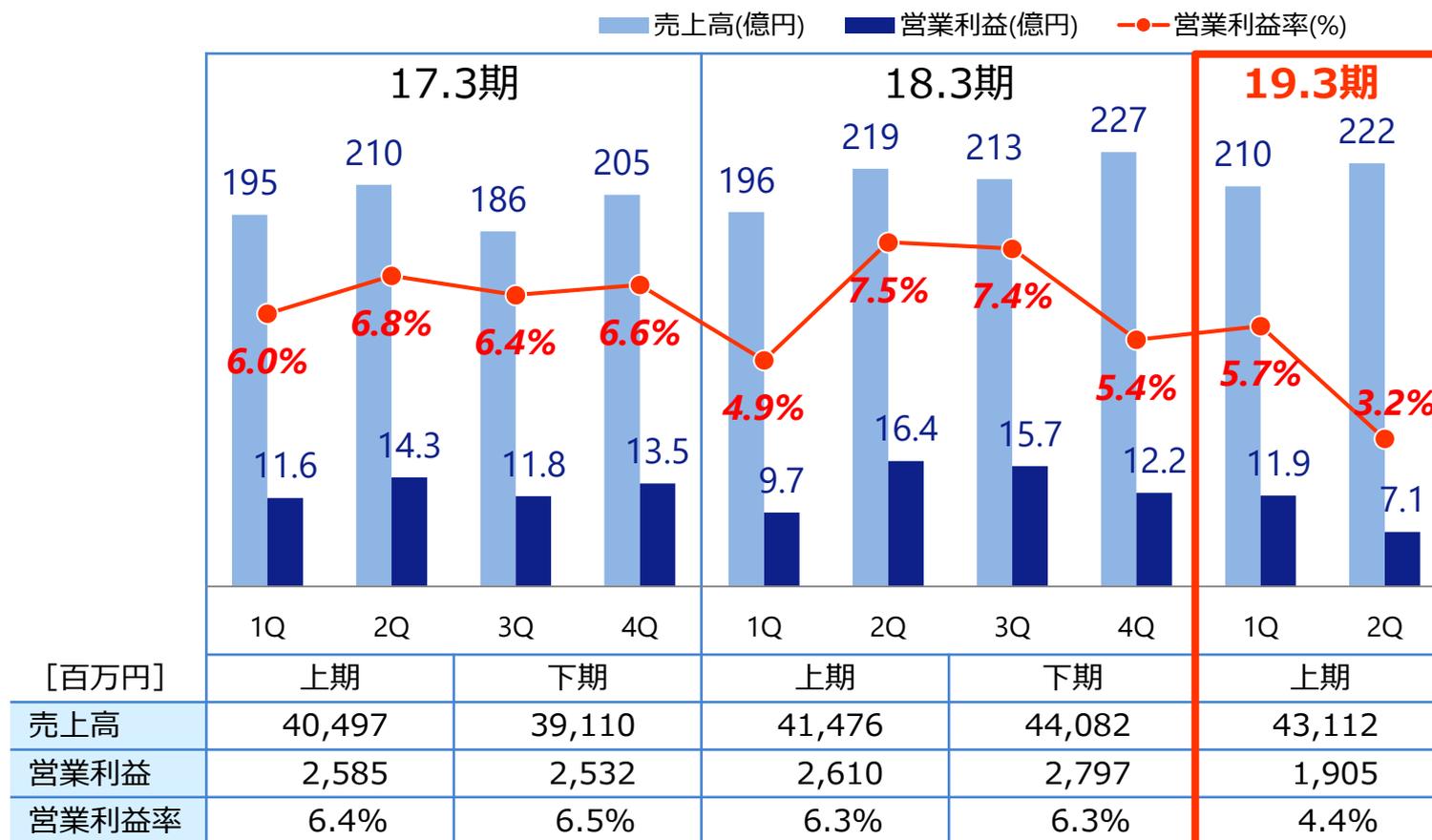
- ◆ 市場に不透明感が広がるも、スマートフォン・車載向けの電子化学材料が伸長し、売上は予想を上回る
- ◆ ユニット製品の採算悪化や、電源機器の不具合に伴う修理費用の計上により、営業利益が大幅に減少

[百万円]

	2017-2Q			2018-2Q			2018-2Q	
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	直近予想	構成比
売上高	41,476	100.0%	+2.4%	43,112	100.0%	+3.9%	42,800	100.0%
売上原価	28,688	69.2%	+1.2%	30,729	71.3%	+7.1%	-	-
販管費	10,178	24.5%	+6.3%	10,478	24.3%	+2.9%	-	-
営業利益	2,610	6.3%	+0.9%	1,905	4.4%	▲27.0%	2,300	5.4%
経常利益	2,747	6.6%	+31.2%	1,956	4.5%	▲28.8%	2,200	5.1%
当期純利益	2,089	5.0%	+50.1%	1,492	3.5%	▲28.6%	1,600	3.7%
為替 (円/米ドル)	期中平均	110.04	+5.84	109.26	▲0.78	109.00		
	期末	112.73	+11.61	113.57	+0.84	109.00		

四半期別の売上高・損益

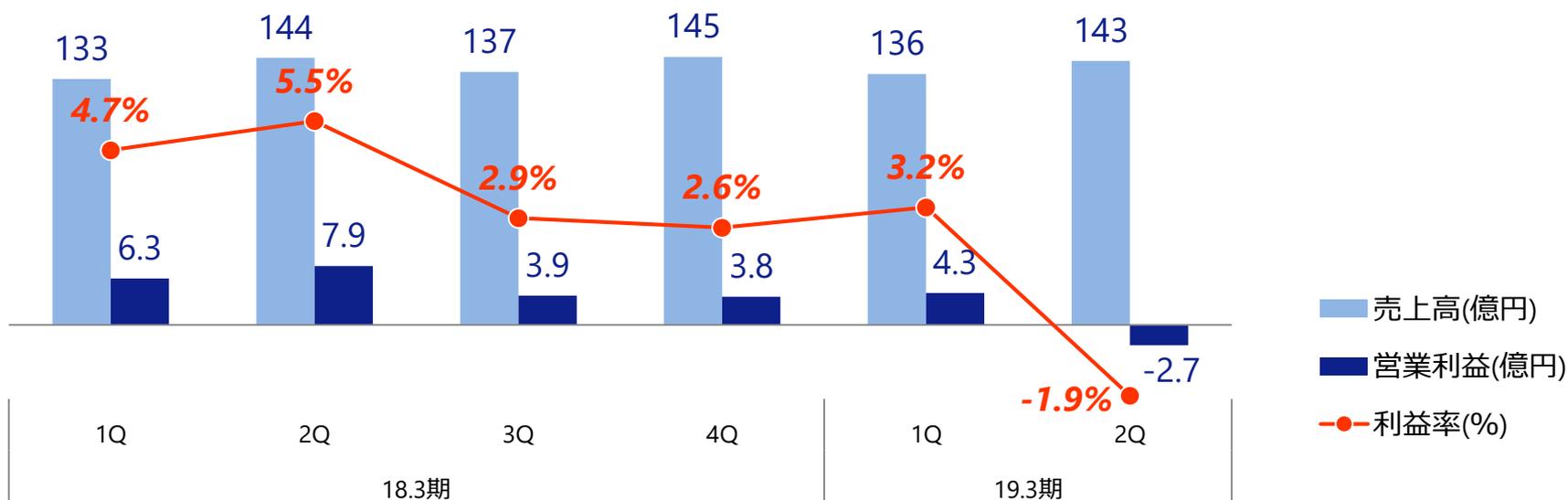
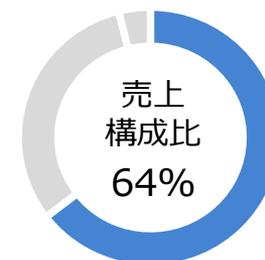
- ◆ 夏場に向けてスマートフォン用の電子化学材料や、エアコン用リアクタの売上が伸長
- ◆ 当2Qの営業利益は、電子部品関連事業における電源機器の不具合費用の計上などで減少



【事業部門別】電子部品関連事業の実績①

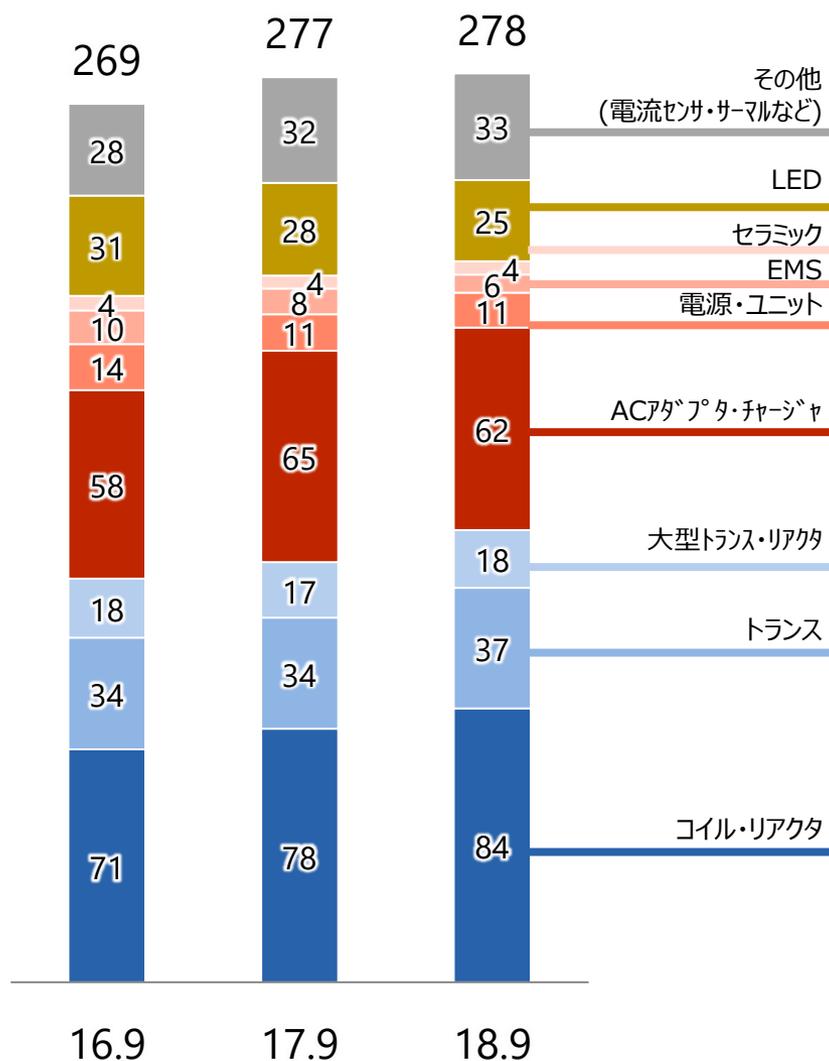
- ◆ エアコン用リアクタや、送配電向けの大型トランス・リアクタの売上は堅調
- ◆ ユニット製品の採算悪化や、電源機器の不具合に伴う修理費用の計上により、営業利益が大幅に減少

[百万円]	18.3期2Q		19.3期2Q		19.3期2Q
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	直近予想
売上高	27,714	+3.0%	27,816	+0.4%	28,300
営業利益	1,421	▲0.2%	157	▲88.9%	1,000
営業利益率	5.1%	▲0.2pt	0.6%	▲4.5pt	3.5%



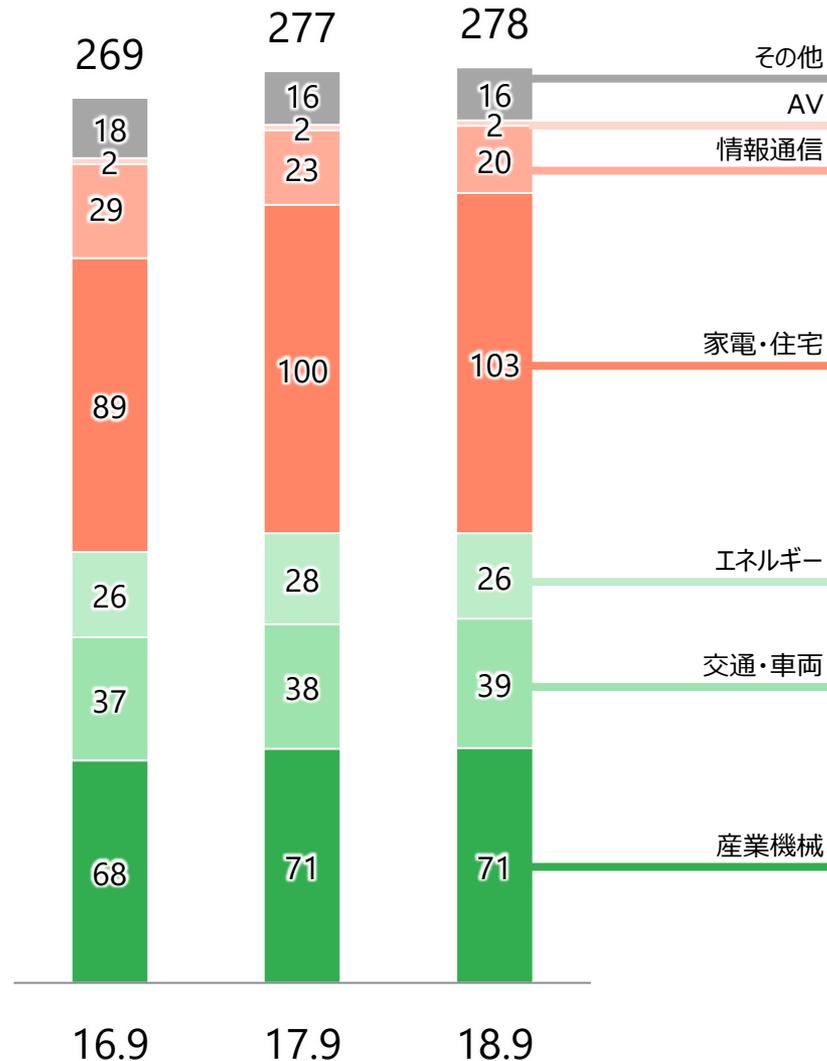
製品別売上高

[億円]



市場別売上高

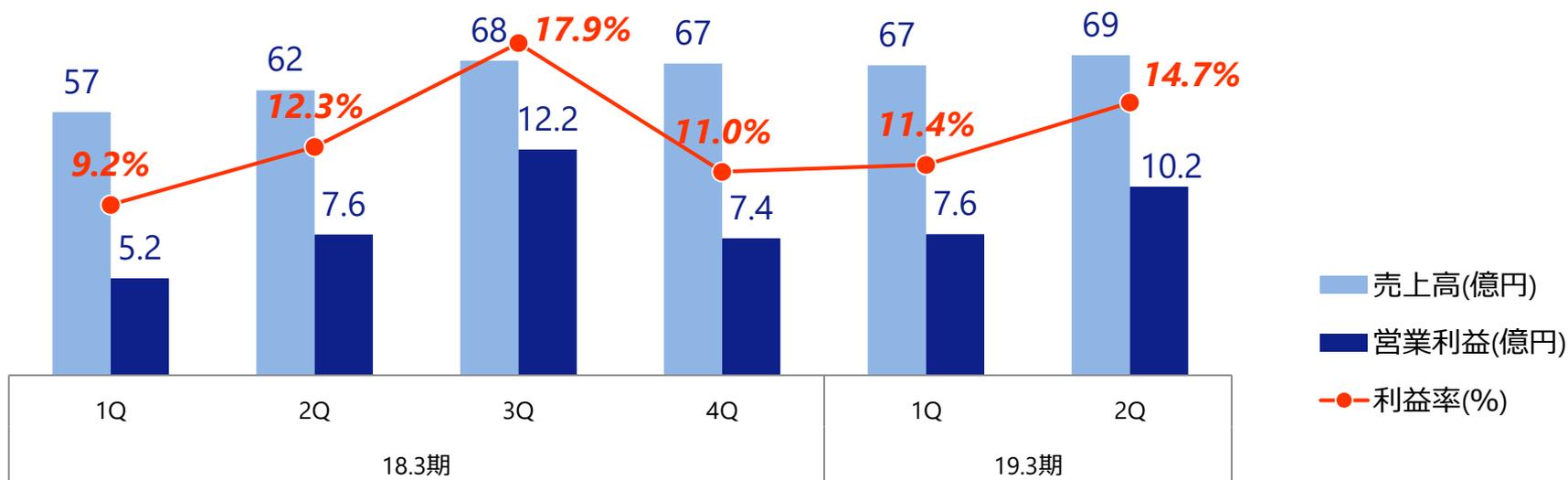
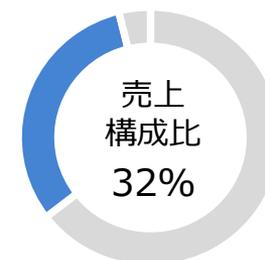
[億円]



【事業部門別】電子化学実装関連事業の実績①

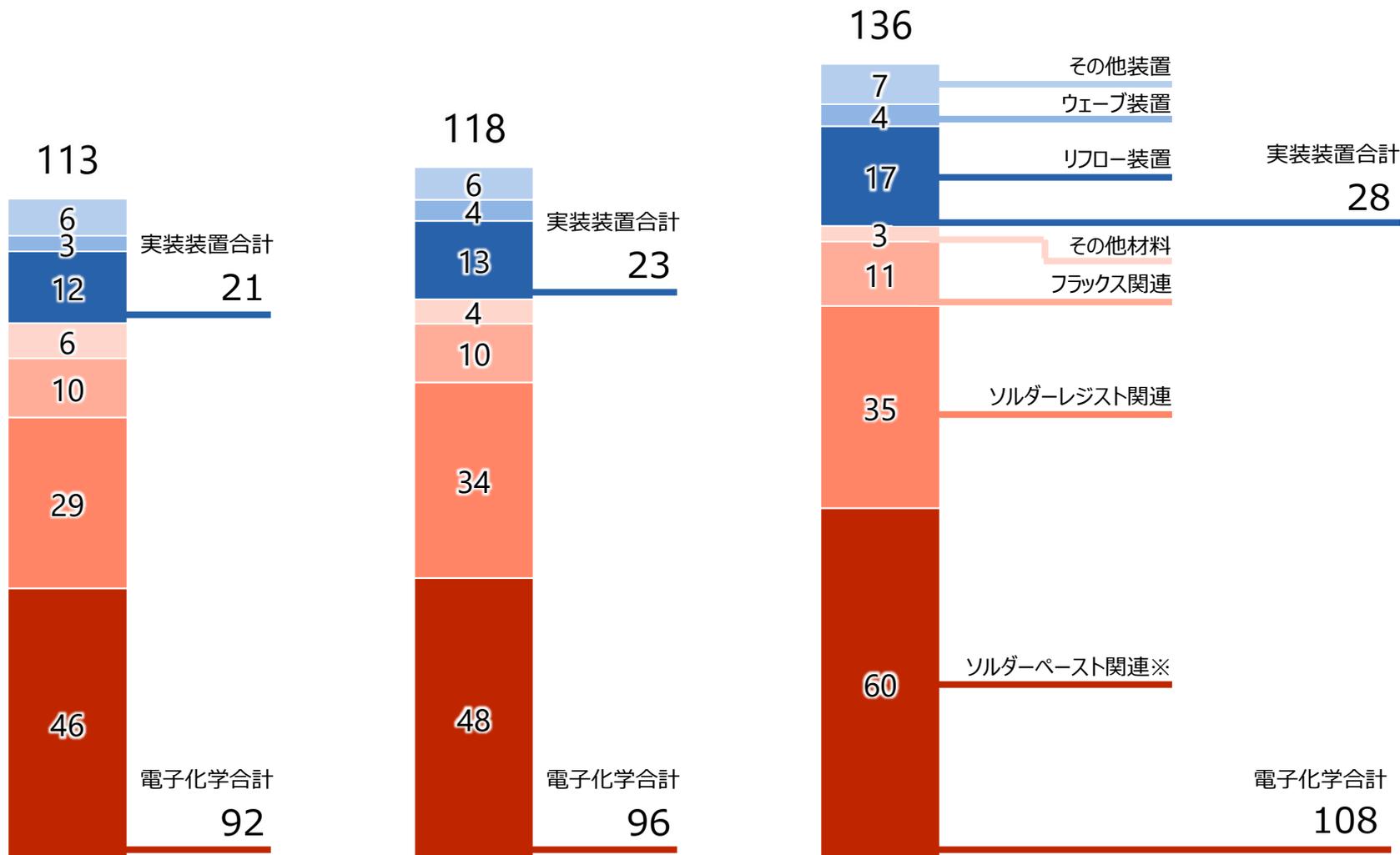
- ◆ 車載向けのソルダーペースト・ソルダーレジスト・リフロー装置が堅調
- ◆ スマートフォン向けのフレキシブル基板用ソルダーレジストが例年より早く立ち上がり、夏場に生産ピーク

[百万円]	18.3期2Q		19.3期2Q		19.3期2Q
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	直近予想
売上高	11,890	+4.8%	13,654	+14.8%	12,600
営業利益	1,283	+2.4%	1,781	+38.8%	1,350
営業利益率	10.8%	▲0.3pt	13.0%	+2.2pt	10.7%



製品別売上高

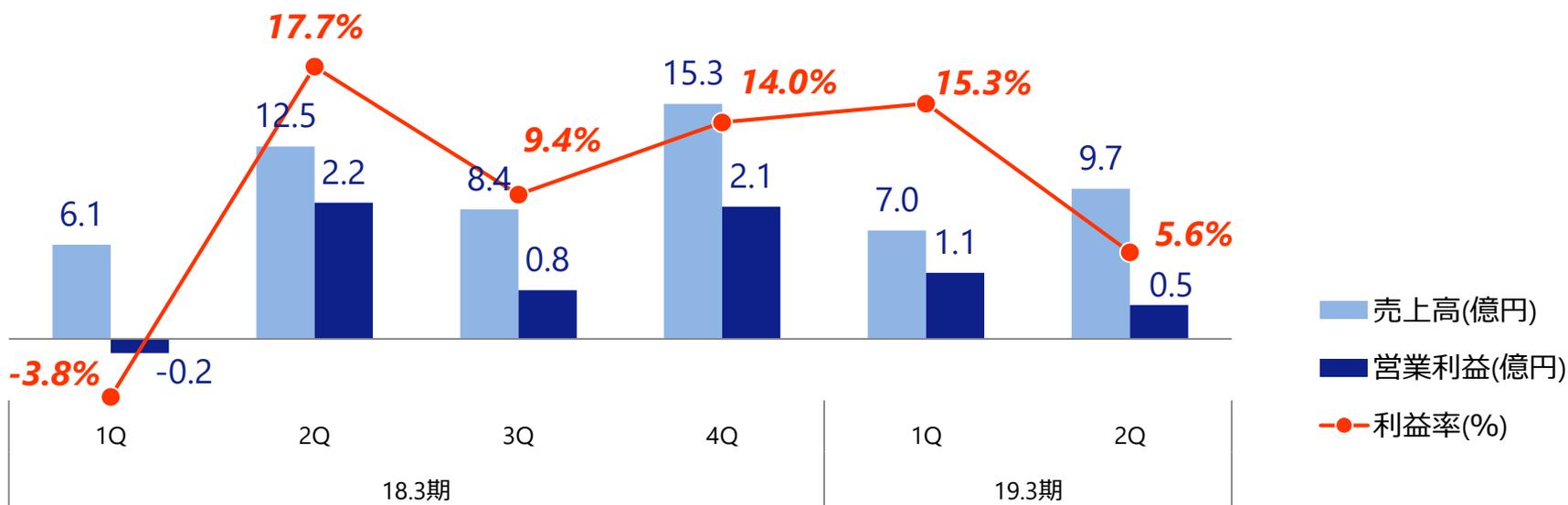
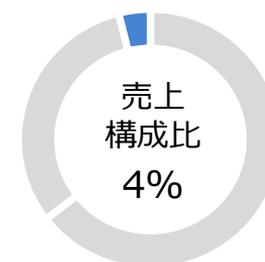
[億円]



18.9 ※ソルダーペースト関連に、2018年度より連結子会社化したドイツ新拠点の棒はんだ・糸はんだの数字を含む

- ◆ 当1Qを中心に通信事業者向けの監視装置が伸長し、利益を牽引
- ◆ 音声卓（ミキサー）をはじめ引き合いは堅調だが、ワイヤレスマイクロホンシステム関連の販売がやや遅延

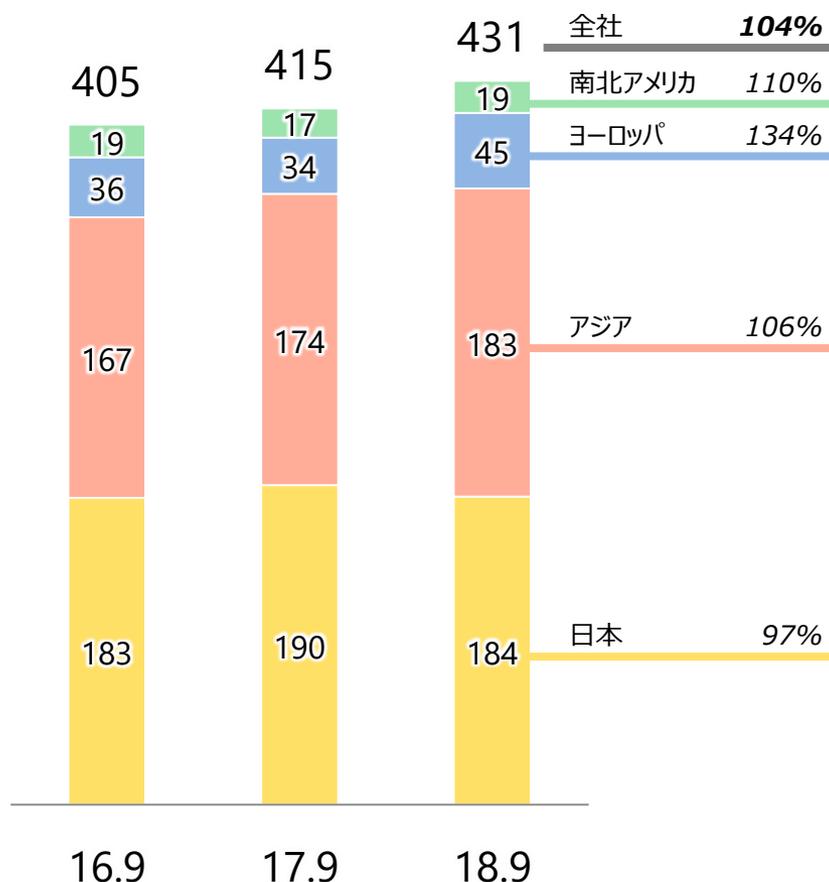
[百万円]	18.3期2Q		19.3期2Q		19.3期2Q
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	直近予想
売上高	1,858	▲18.0%	1,674	▲9.8%	1,900
営業利益	197	▲6.7%	161	▲18.1%	150
営業利益率	10.6%	+1.3pt	9.6%	▲1.0pt	7.9%



- ◆ アジアの営業利益は、ユニット工場の採算悪化や不具合対応費用の計上で減少
- ◆ ヨーロッパは電子化学ドイツ新拠点の設置で売上増加。電子部品欧州拠点は構造改革で収益改善

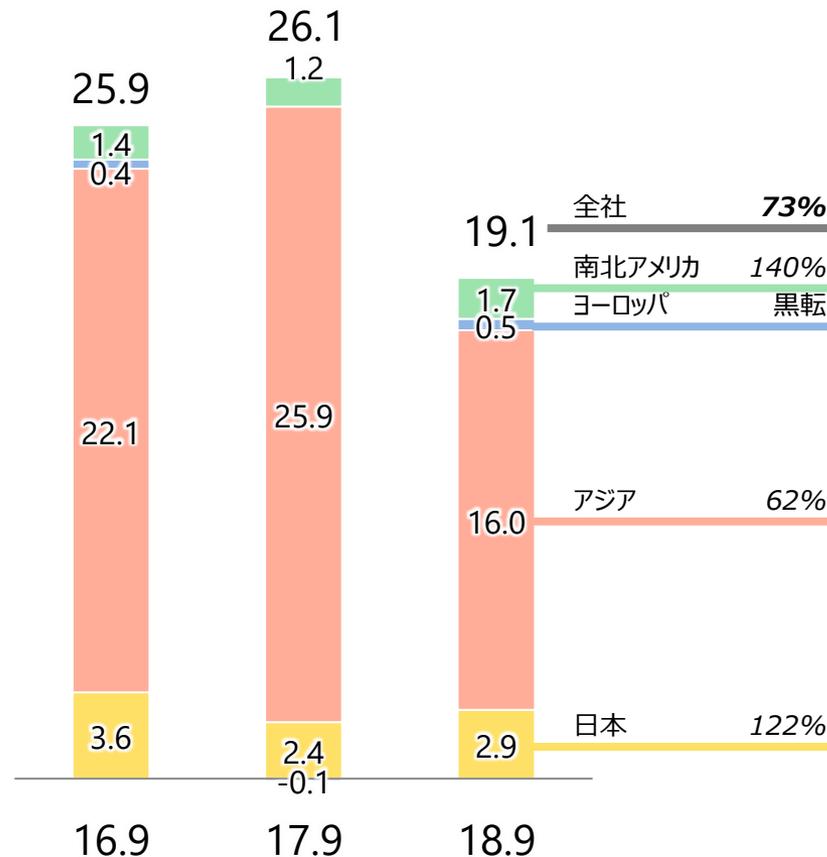
売上高

[億円]
対前年同期増減率



営業利益

[億円]
対前年同期増減率

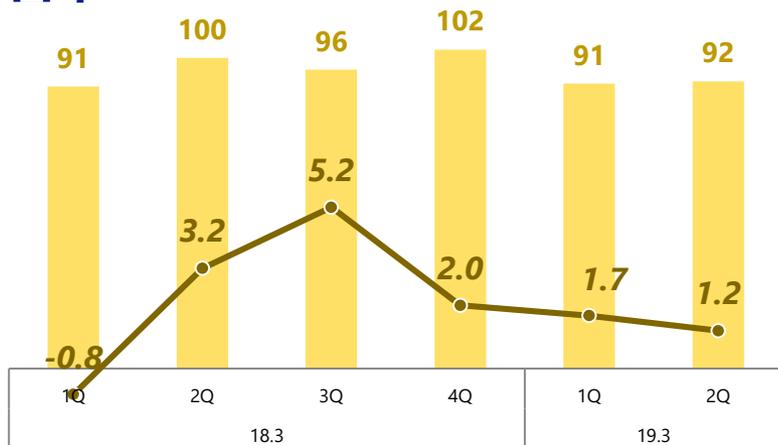


注: 連結消去により、営業利益の全社の値と、地域の合計が一致しません。
関係会社間における事業支援金のやりとりは無いものとして地域別営業利益を表示

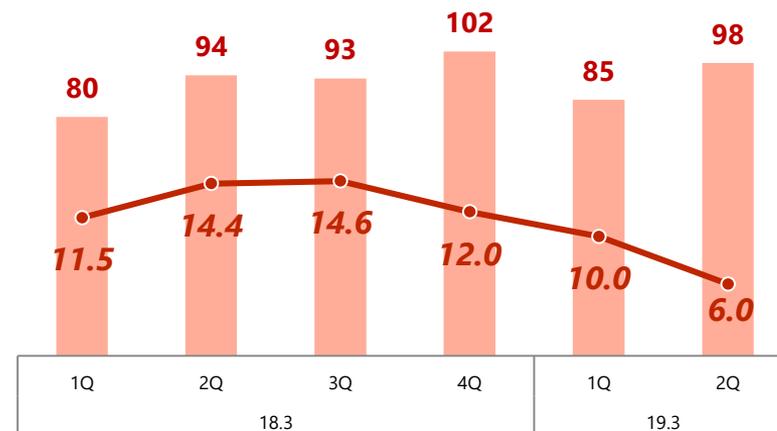
地域別の売上高・損益（四半期推移）

■ 売上高(億円) ●— 営業利益(億円)

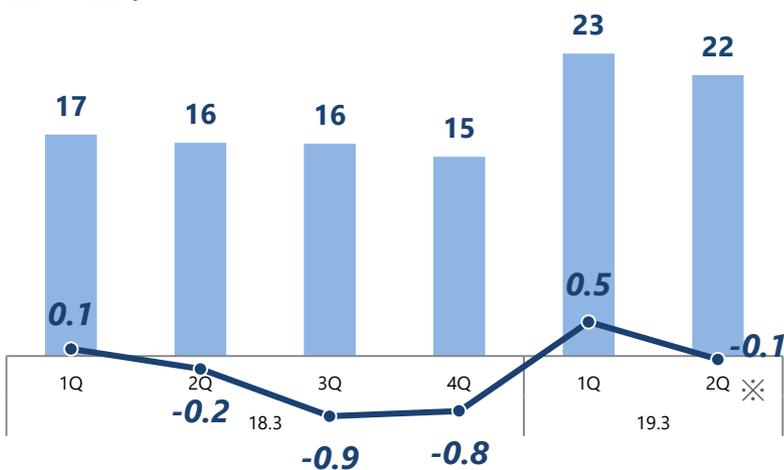
日本



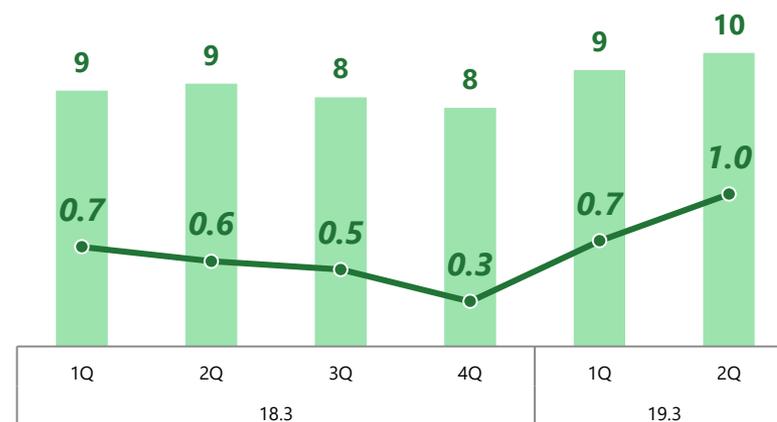
アジア



ヨーロッパ



南北アメリカ

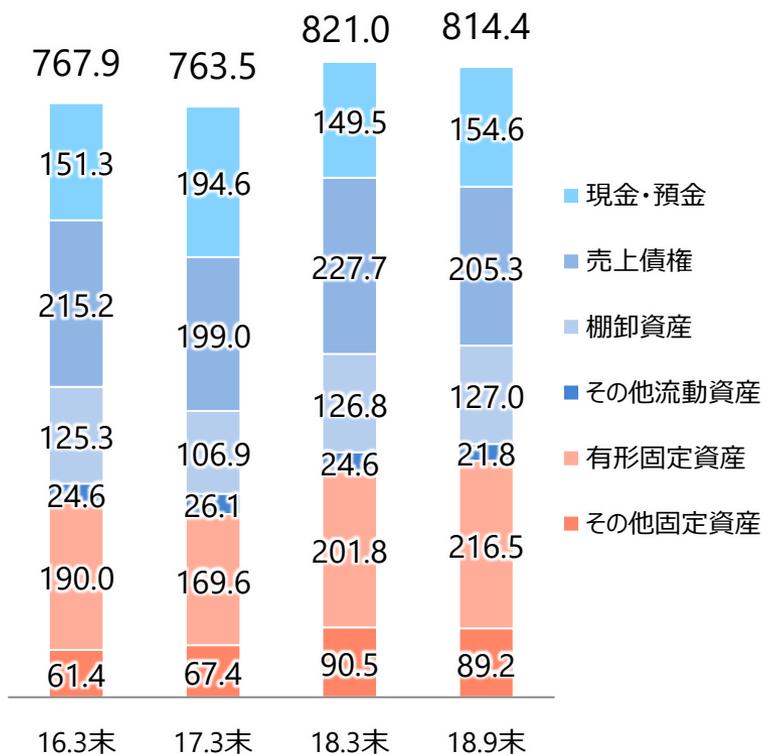


※ヨーロッパ2Qには、欧州電子化学事業のドイツ新拠点集約に伴う、イギリス工場閉鎖関連の一時的支出が含まれる

- ◆ 有利子負債圧縮は一定の水準に到達したので、車載関連などの拡大に向けた資金準備に舵を切る
- ◆ 坂戸・若柳の建て替えが完成し、固定資産取得

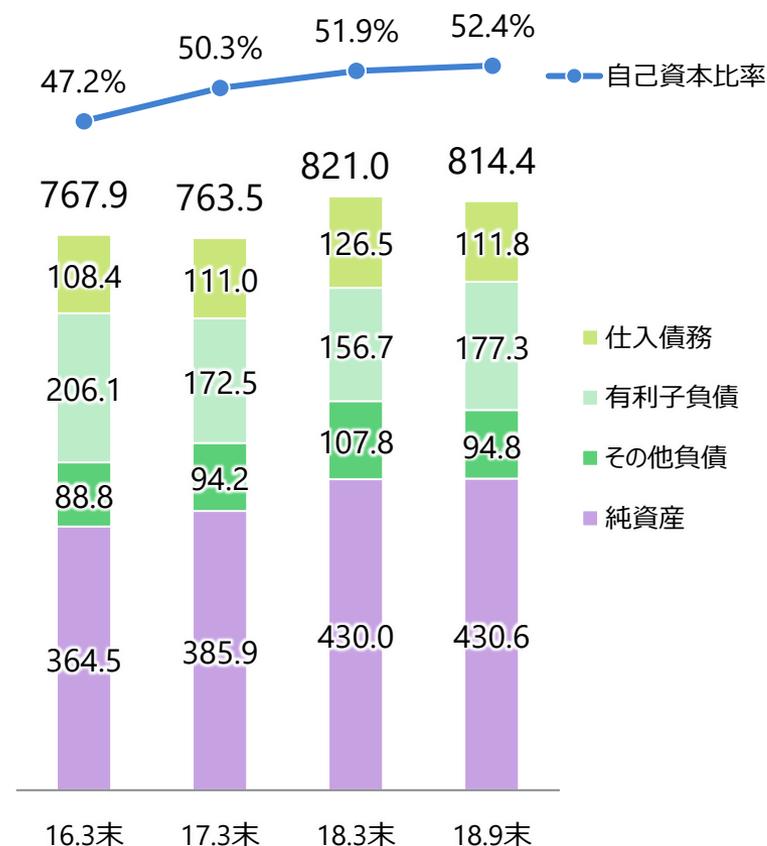
資産

[億円]



負債・純資産

[億円]



2. 2019年3月期 通期業績予想

- ◆ 中国におけるインフラ投資減速などを背景に、産業機械向けの電子部品をはじめ不透明な状況
- ◆ 電子部品関連事業は、中国地区の収益改善をはじめとした取り組みで、下期は利益を改善
- ◆ 工場売却益の計上を新たに見込み、当期純利益の減益幅は縮小。当期純利益は過去最高更新を目指す。

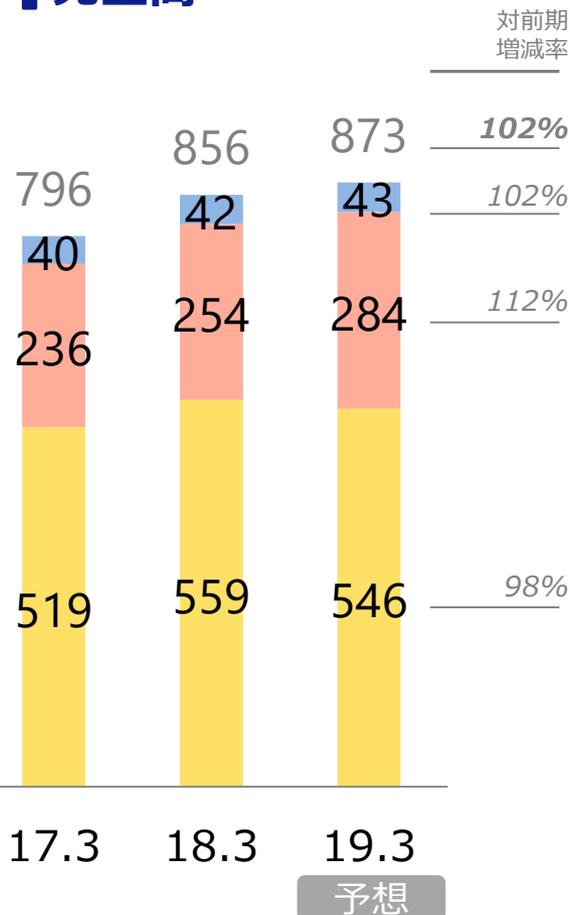
[百万円]

	2018.3			2019.3			2019.3	
	実績	構成比	前期比	予想	構成比	前期比	直近予想	構成比
売上高	85,558	100.0%	+7.5%	87,300	100.0%	+2.0%	90,000	100.0%
営業利益	5,407	6.3%	+5.7%	5,400	6.2%	▲0.1%	6,300	7.0%
経常利益	5,480	6.4%	+7.7%	5,300	6.1%	▲3.3%	6,100	6.8%
当期純利益	3,630	4.2%	▲2.6%	4,500	5.2%	+23.9%	4,700	5.2%
為替 (円/米ドル)	期中平均	110.59	+2.61	110.00		▲0.59	109.00	
	期末	106.24	▲5.95	110.00		+3.76	109.00	
1株当たり配当	9.00円		0.00円	10.00円		+1.00円	10.00円	
配当性向	20.3%		+0.5pt	18.4%		▲1.9pt	17.4%	
ROE	9.0%		▲1.0pt	9%以上		0.0pt	9%以上	

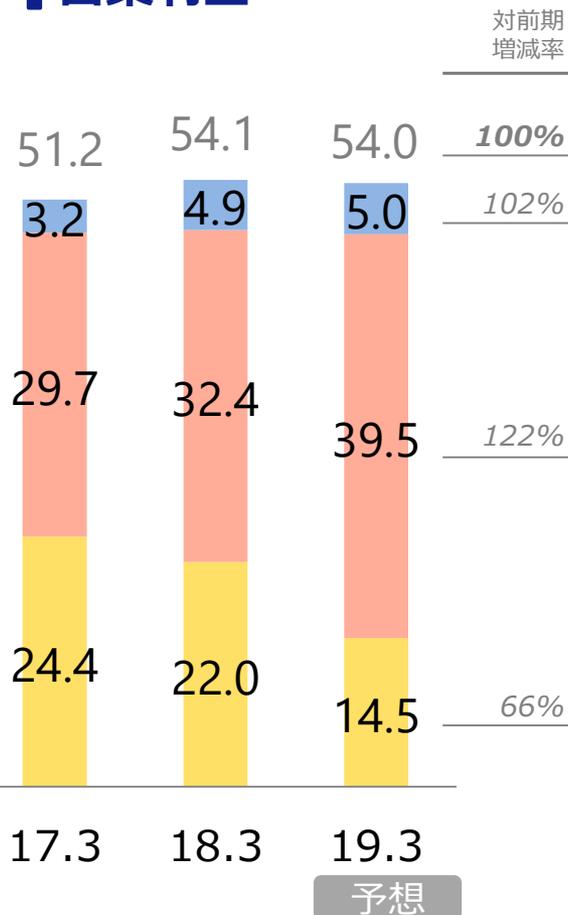
事業部門別の売上高・損益見通し

■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学実装関連事業 ■ 情報機器関連事業 ■ 全社 [億円]

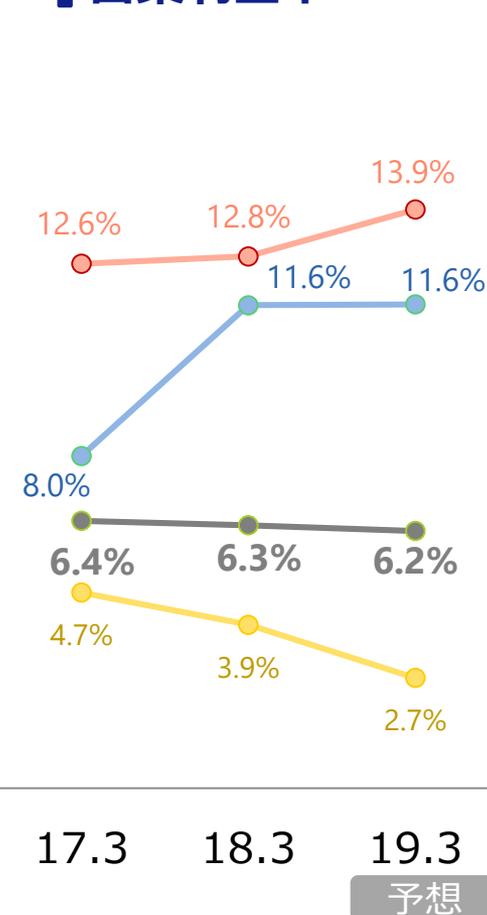
売上高



営業利益



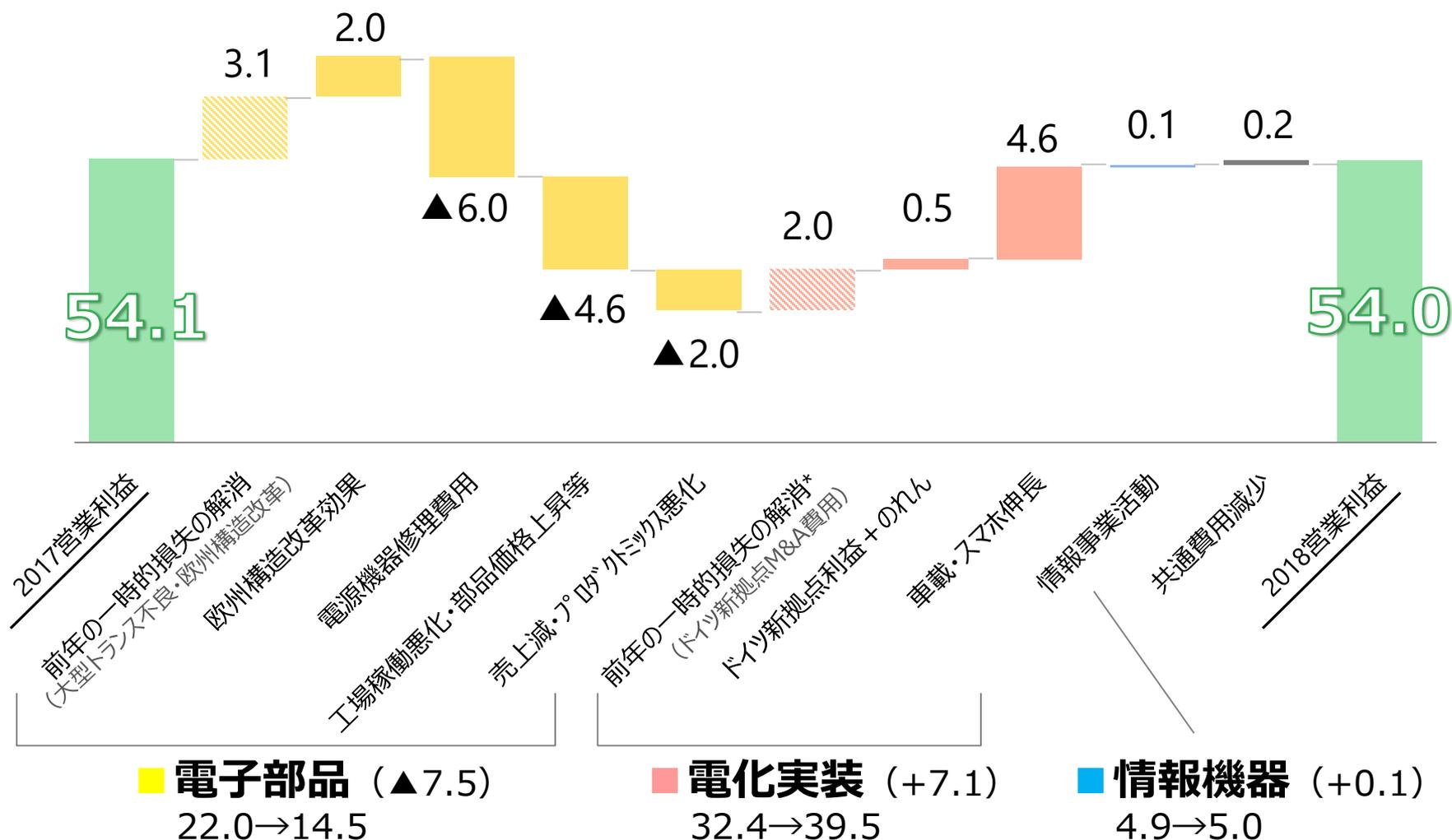
営業利益率



注: 連結消去 (主に全社未来開発費) により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません。

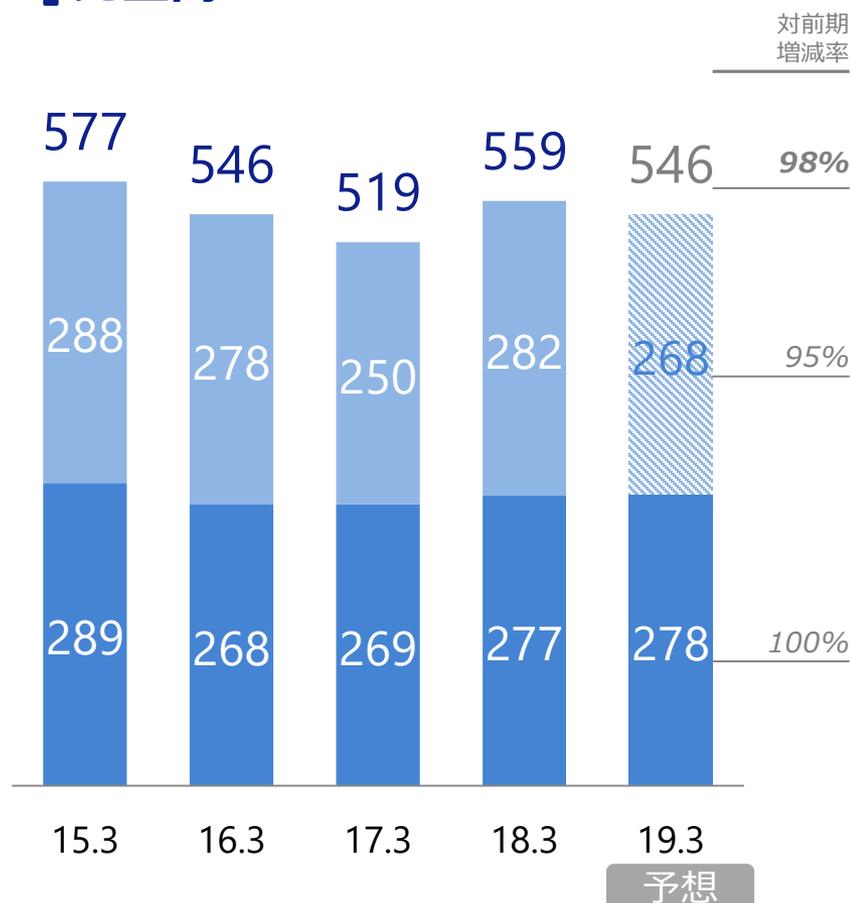
■ 全社営業利益の増減要因

[億円]

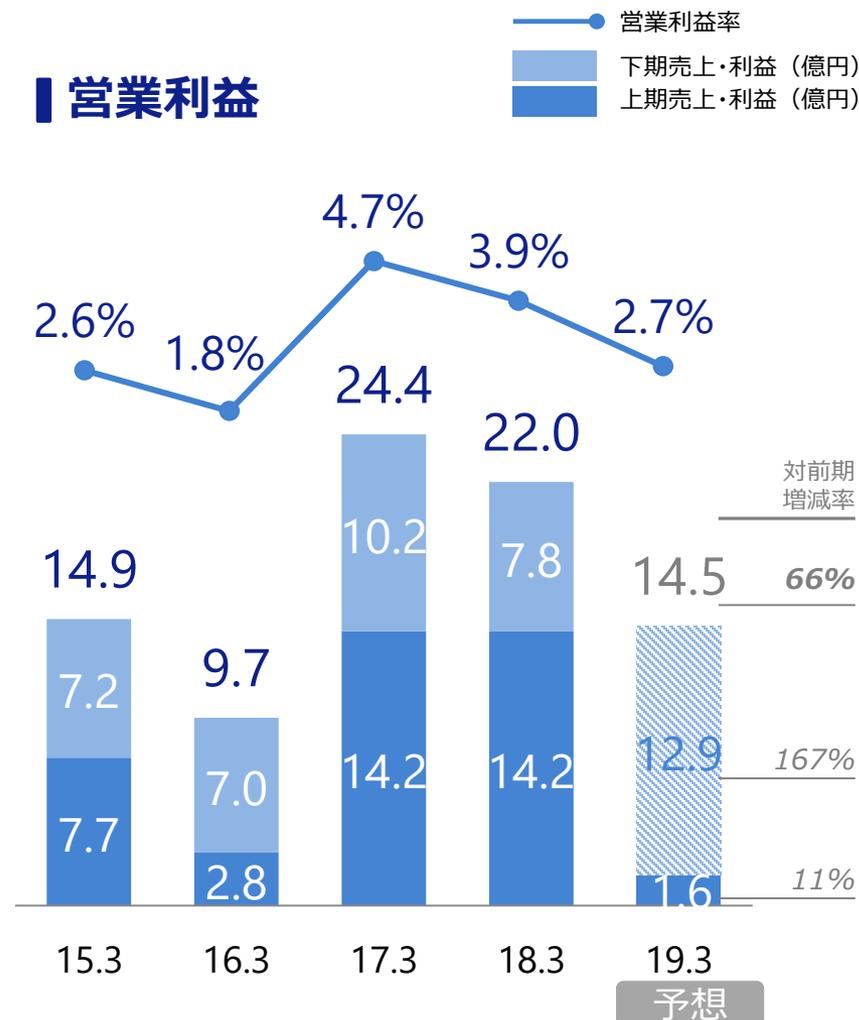


- ◆ 産業機械用トランス・リアクタ、電動工具用チャージャ・通信アダプタなどの引き合いが弱く減収
- ◆ 修理費用など一過性の減益要因が解消し、中国地区の収益改善により、下期は収益性を改善

売上高

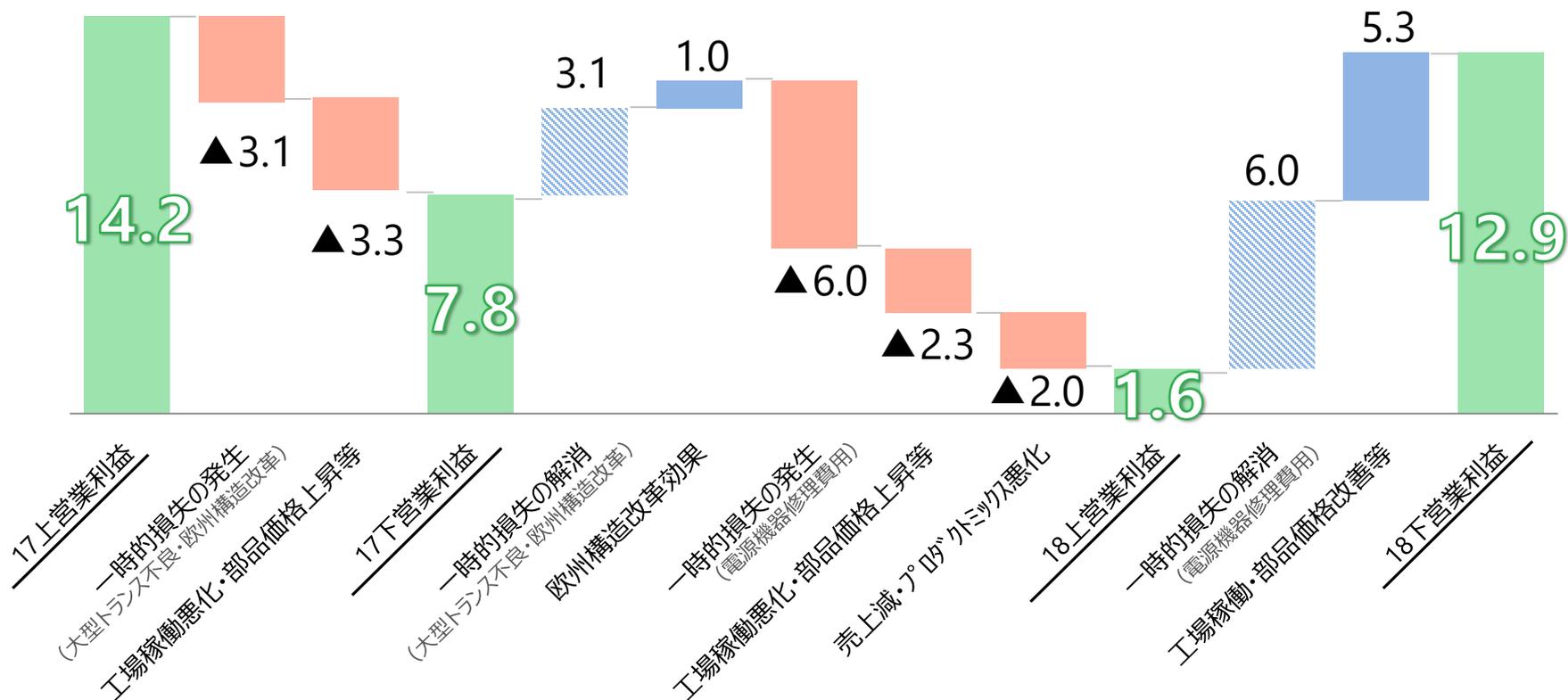


営業利益



電子部品関連事業の営業利益増減要因

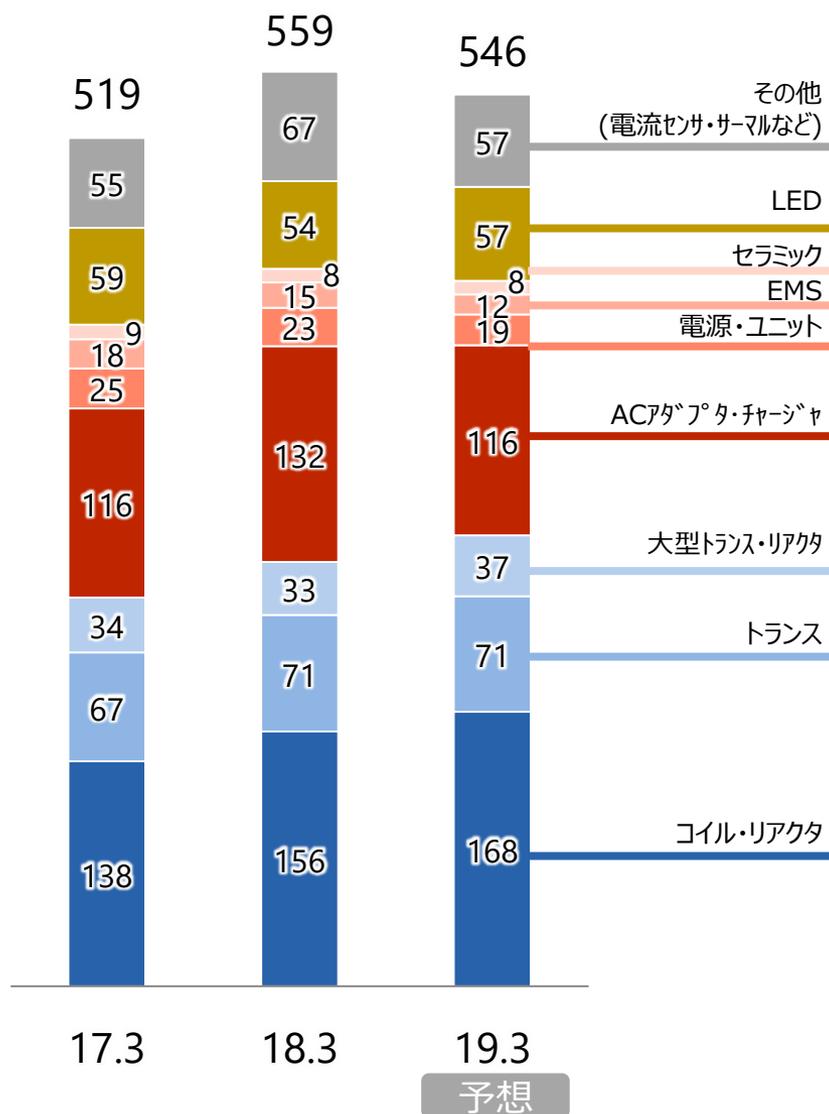
[億円]



	2017下	2018上	2018下	2019~
一過性要因	● 大型トランス不良 ● 欧州構造改革	● 電源機器修理費用 (● 欧州構造改革効果)		
原価要因	● 部品価格上昇 ● 工場稼働悪化 ● 銅価格上昇	● 代替部品選定・適用 ● 旧正月の人員確保難 ● 人民元高	● VEによる部品・副資材のコストダウン ● 工場稼働安定化 ● アダプタ製造のバングラデシュ移管	
売上要因		● 産業機械、通信用アダプタ、電動工具の売上減 ● 中国太陽光補助金引下げで電流センサの売上減 ● エアコン用リアクタ好調	● 人民元高解消 ● 送配電向けトランス・リアクタ好調	● チャージャ新規顧客拡大

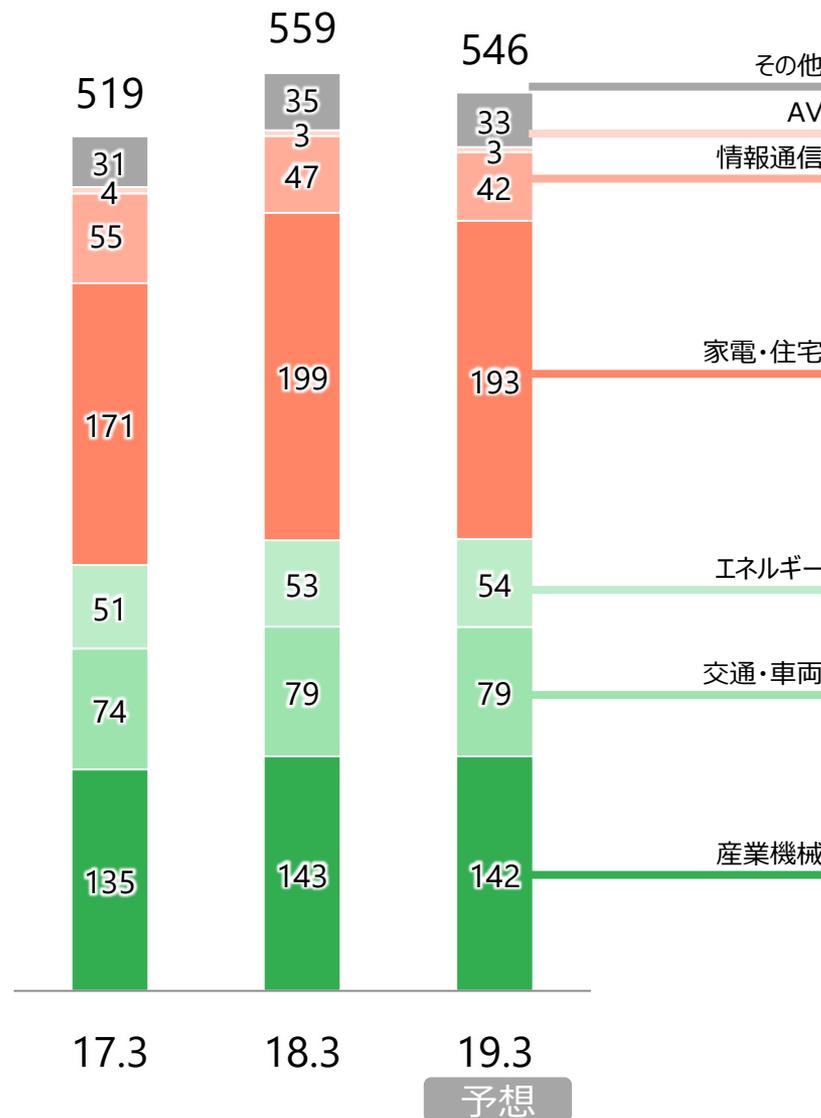
製品別 売上高

[億円]



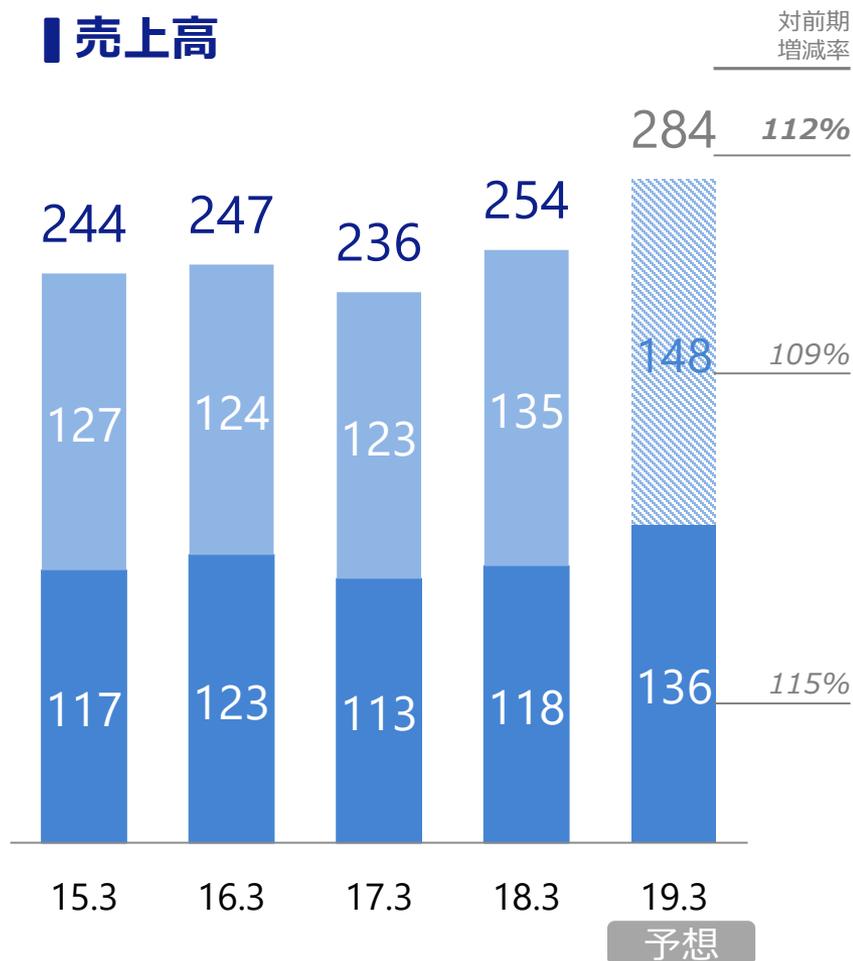
市場別 売上高

[億円]

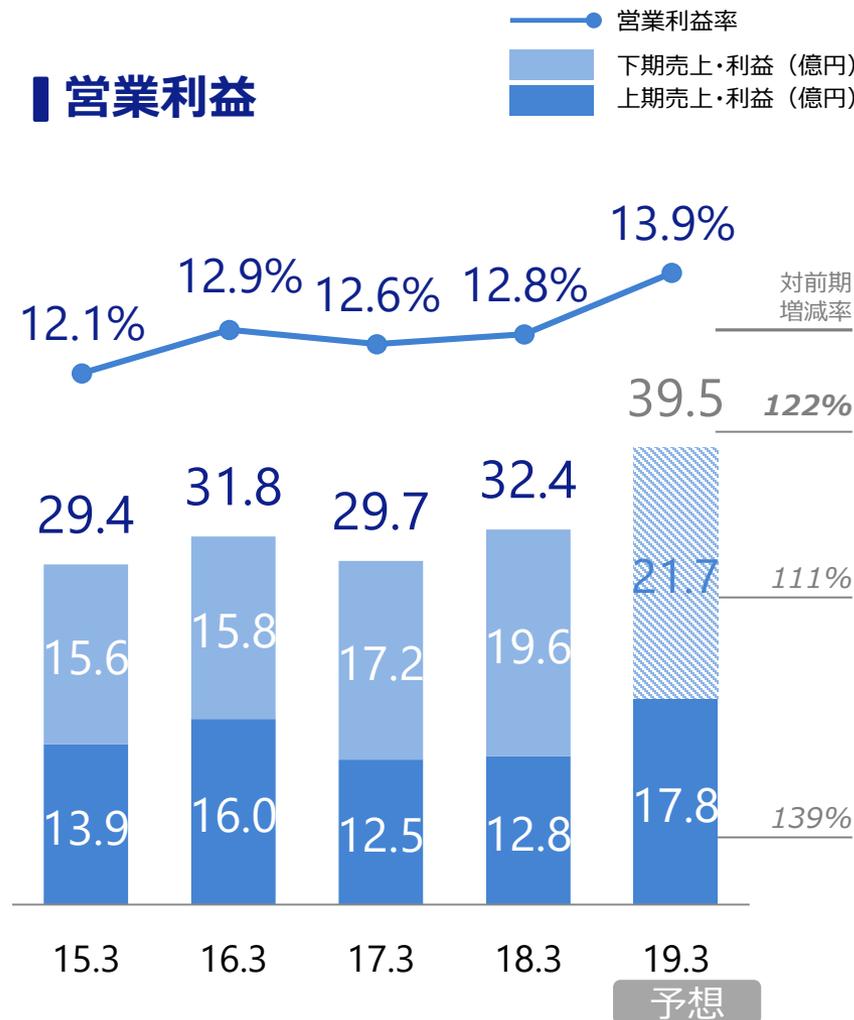


- ◆ スマートフォン向けのフレキシブル基板材料が例年より早く立ち上がり、下期の売上・利益は当初計画より減少
- ◆ 車載用溶剤ペースト・溶剤レジスト・リフロー装置が堅調で、年間では当初計画以上の利益を見込む

売上高

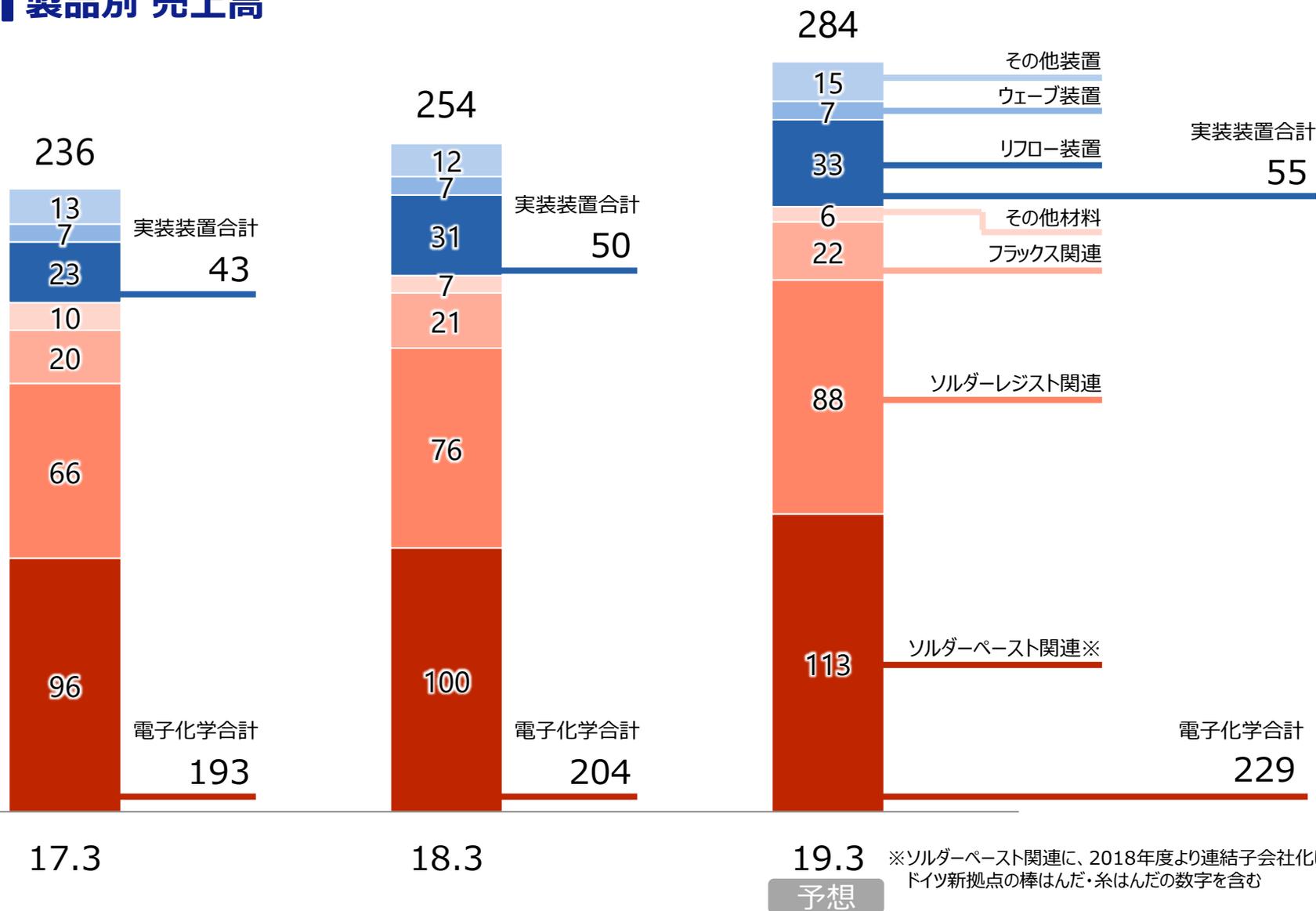


営業利益



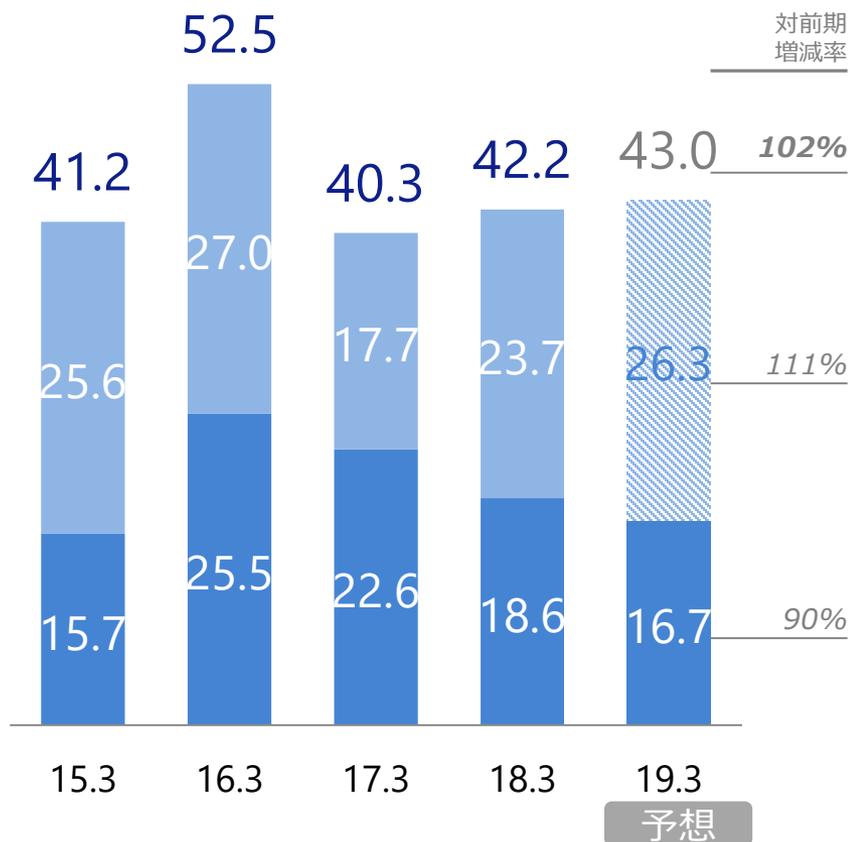
[億円]

製品別 売上高

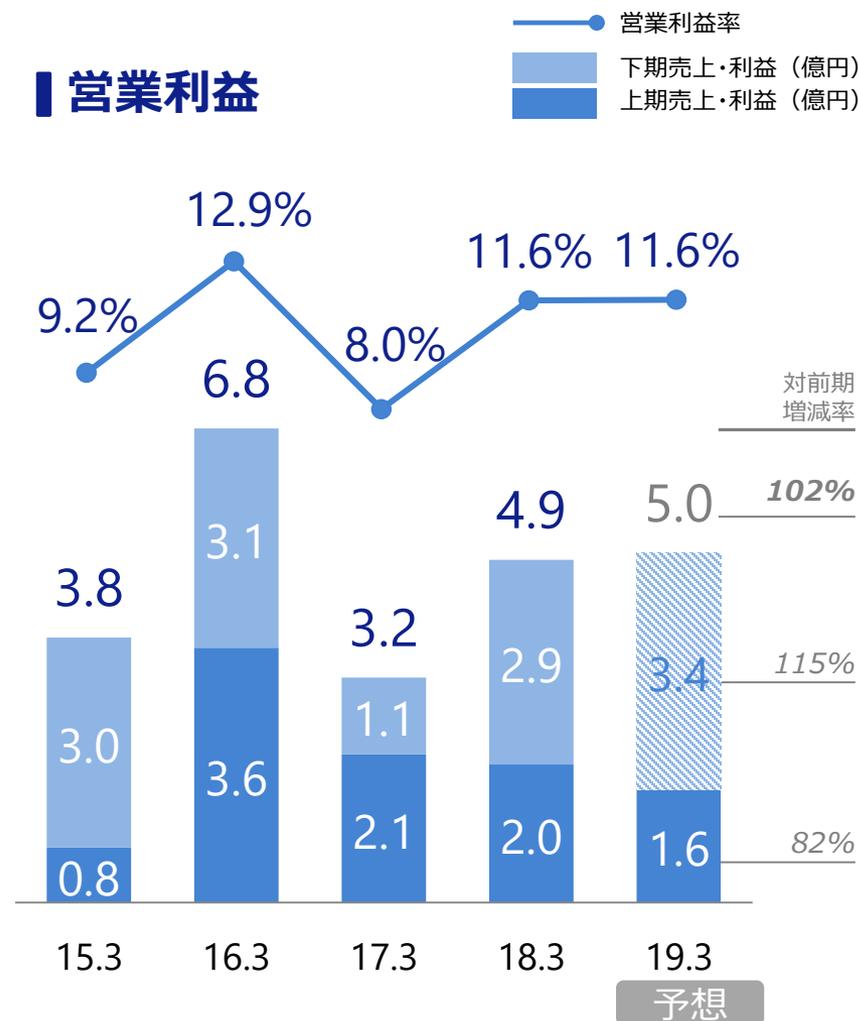


- ◆ キー局の放送設備更新を中心とした音声卓の拡販や、通信事業者向けの監視装置の売上を見込む
- ◆ 2018年12月の4K/8K放送開始や、世界的スポーツイベントの開催に向けて今後も旺盛な需要を期待

売上高

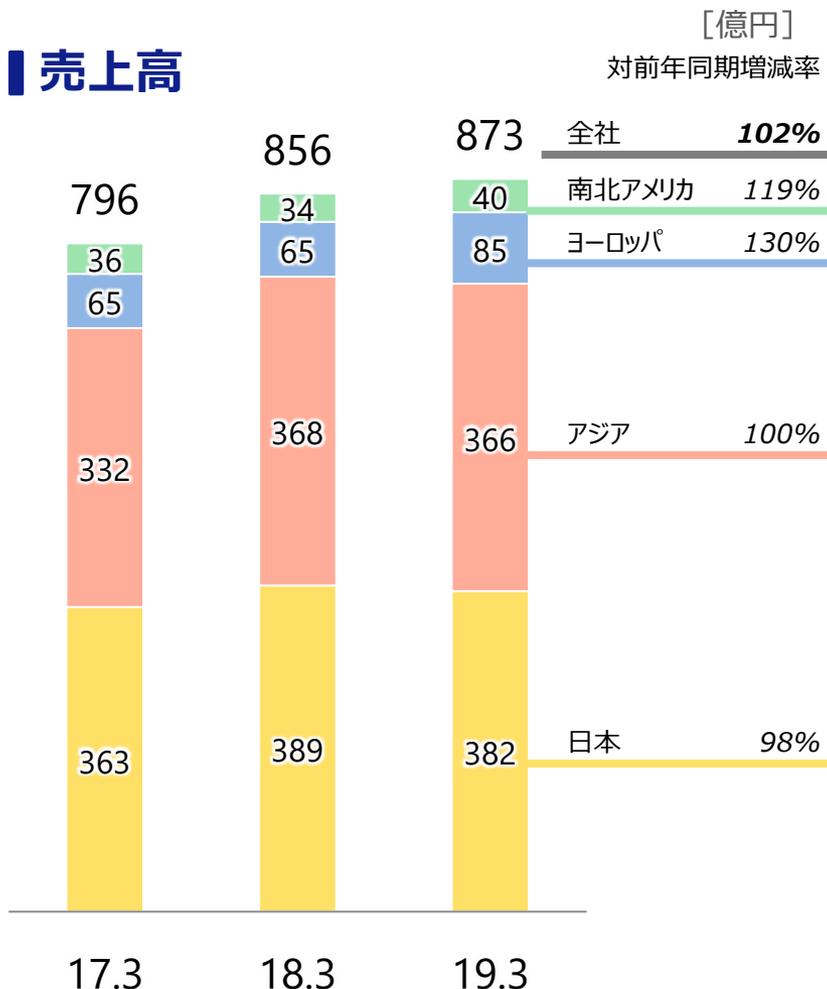


営業利益

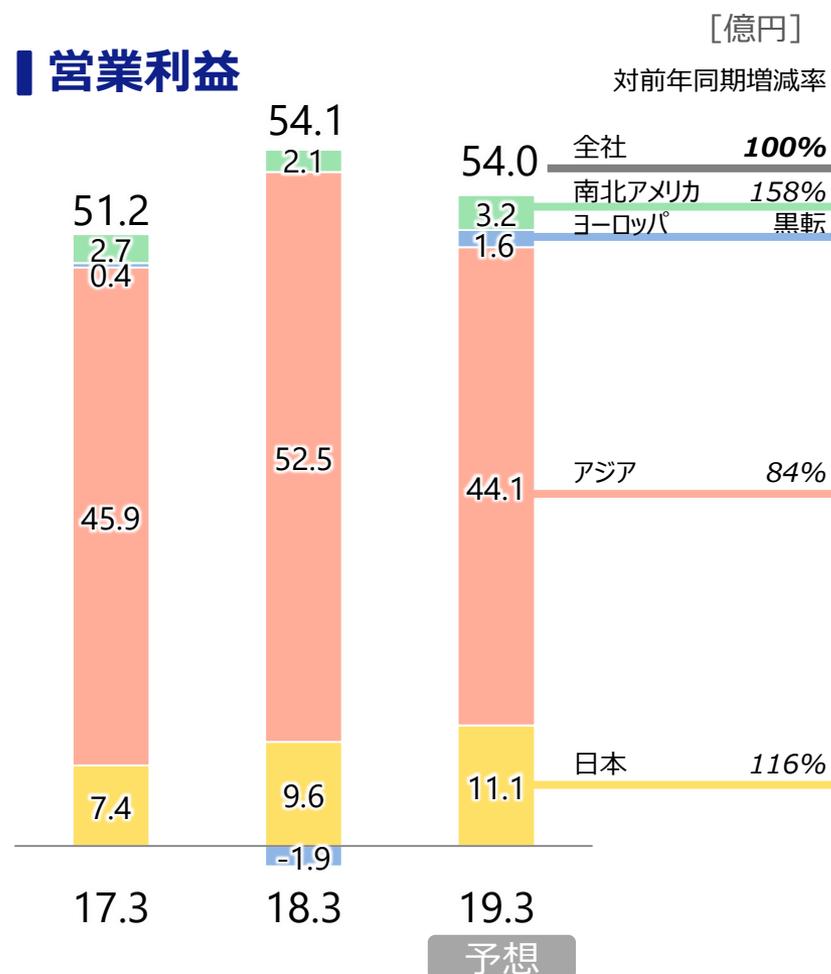


- ◆ アジアの減益要因である電子部品事業（中国）の収益性は下期より改善方向へ
- ◆ ヨーロッパは電子化学ドイツ新拠点で売上増。電子部品欧州拠点は構造改革効果で安定黒字化

売上高



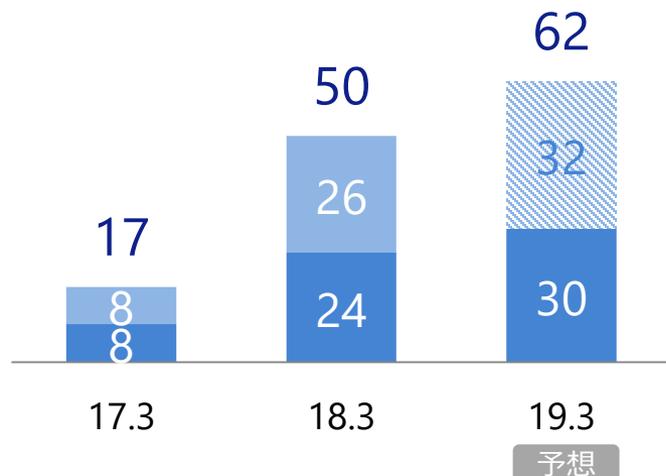
営業利益



注：連結消去により、営業利益の全社の値と、地域の合計が一致しません。
関係会社間における事業支援金のやりとりは無いものとして地域別営業利益を表示

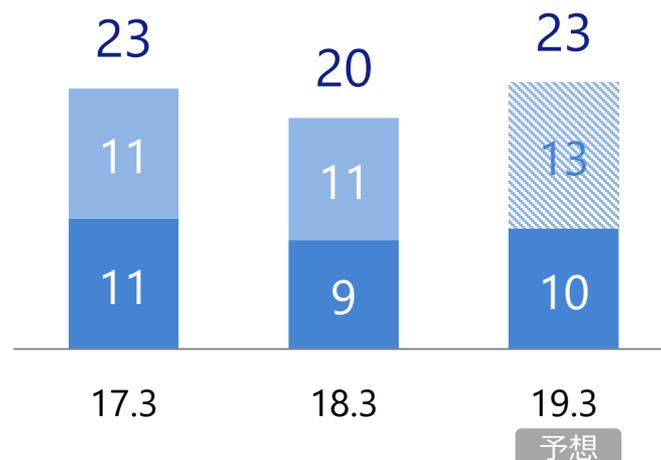
設備投資

※リースを含む

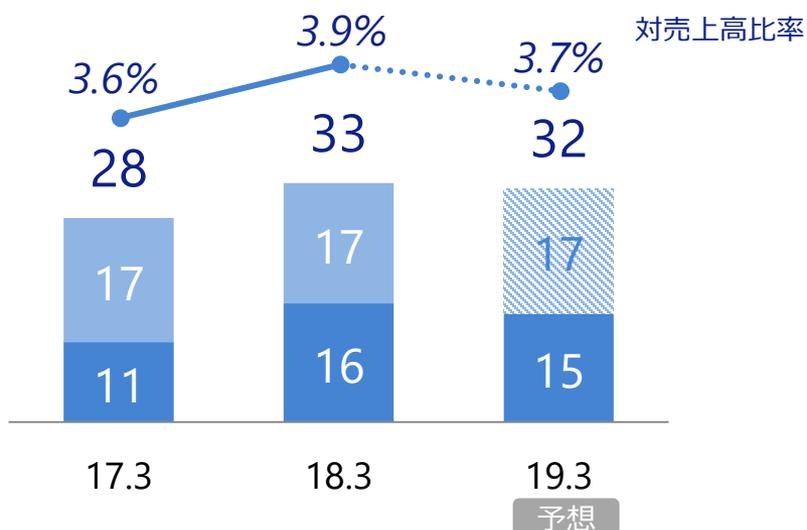


減価償却費

下期 (億円)
上期 (億円)



研究開発関連費用



主な設備投資

- 電子部品: 車載関連生産設備増強 (若柳新工場ほか) 埼玉事業所建替関連
- 電子化学実装: 国内外生産設備増強 (ドイツ・タイほか)

主な開発投資

- 電子化学材料 新素材関連
- 車載用電子部品関連
- セミコン・結晶開発 (酸化ガリウム) 関連

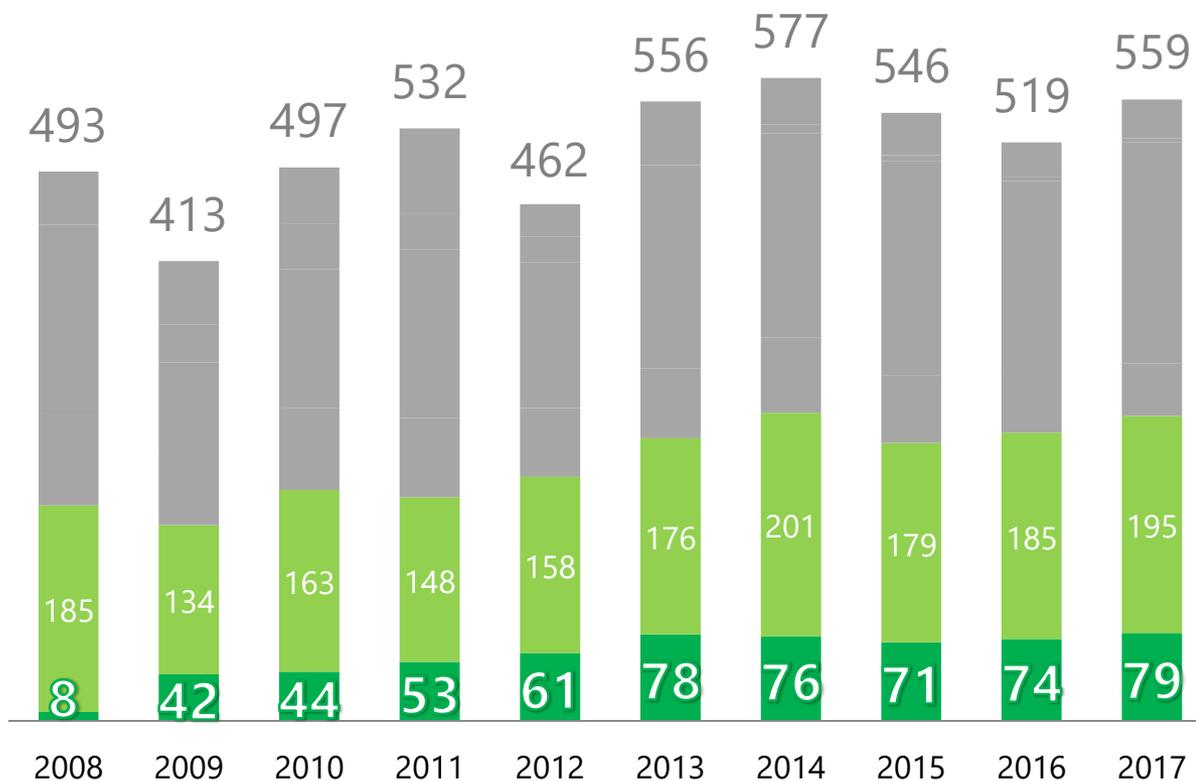
注: 「研究開発関連費用」は、研究開発テーマに関わる経費・労務費・設備投資などを、当社の基準で集計している値です。2016年度3Qに、研究開発テーマの選定基準を変更したため以降の「研究開発関連費用」の値が増加しております。

3. トピックス

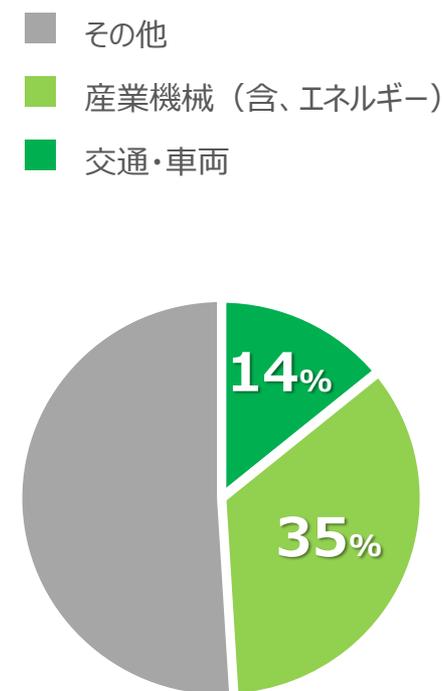
電子部品関連事業の車載市場への取り組み

電子部品関連事業の車載市場への取り組み

- 電子部品関連事業は、産機向け・車載向け市場への拡販により、安定した売上確保と、収益性の改善に向けた取り組みを進めています。
- 現在・産機向け・車載向けの売上は、事業の約半分を占めています。



電子部品関連事業の売上推移 (億円)



2017年売上構成

環境車向け昇圧リアクタ増加の背景

- ハイブリッド車やプラグインハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車などの環境対応車の普及拡大に伴い、昇圧リアクタの市場ニーズが拡大しております。
- これまでは、ストロングハイブリッド車(昇圧システムを搭載した車両)の需要は、限定的となっておりますが、直近におきましては、厳しい燃費規制に対応するため、ストロングハイブリッド車の需要が急速に拡大する見通しとなっております。
- こうした将来に向けたグローバルな需要拡大に対応するため、生産能力増強が必要な状況となっております。



環境車向け昇圧リアクタ以外の需要

- プラグインハイブリッド車、電気自動車に搭載される充電器用リアクタやその他の電子機器に使用するトランス・コイルについてもグローバルに需要が拡大しており、昇圧リアクタ以外の市場ニーズにも対応してまいります。



ハイブリッド車・プラグインハイブリッド車・電気自動車などの将来に向けたグローバルな需要拡大

「環境車向け昇圧リアクタ」のニーズ拡大

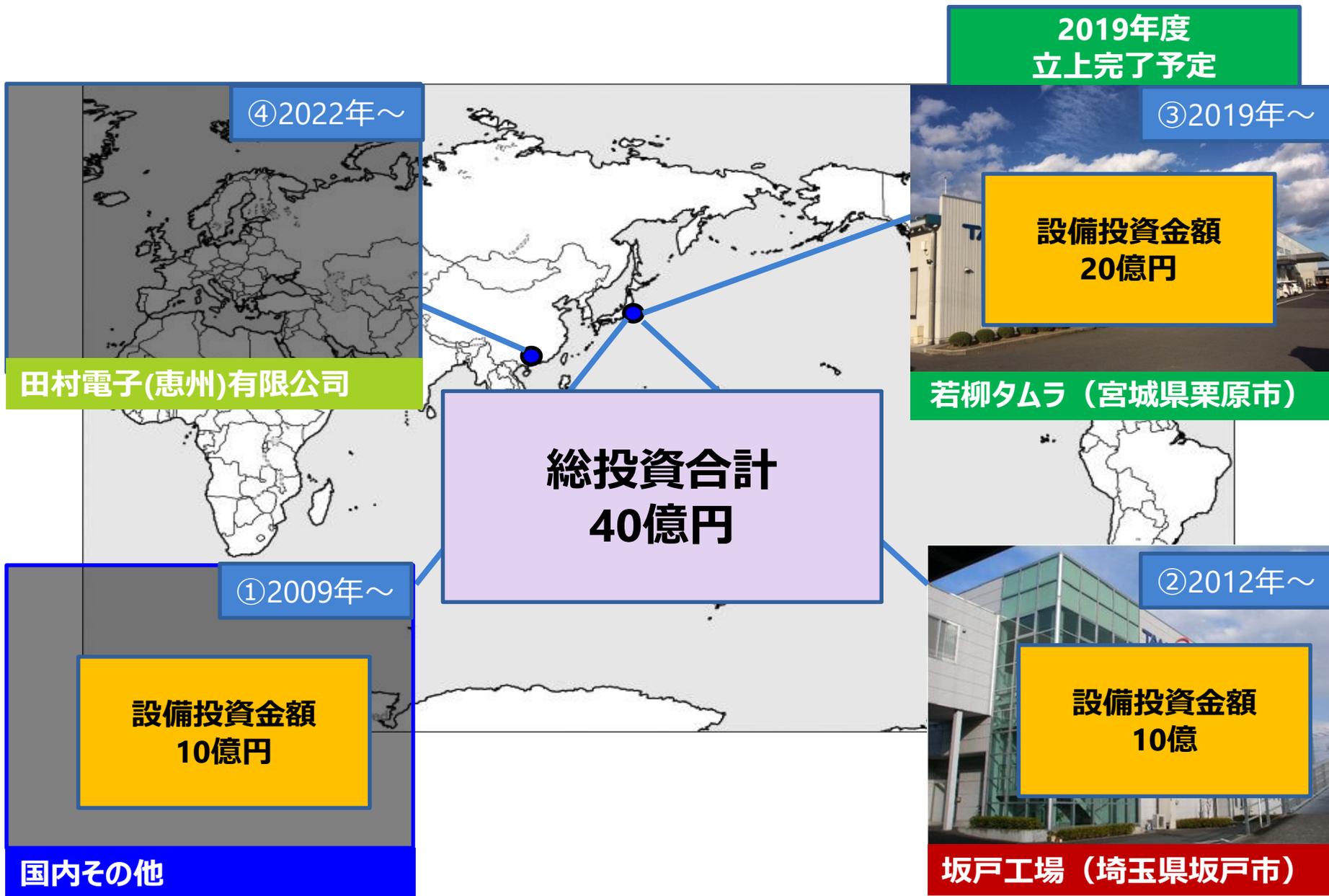
国内外工場における「環境車向け昇圧リアクタ」の生産能力を更に増強

2022年以降には現在の約**3**倍となる年間**550**万台の生産体制を随時構築する予定

	既存工場	タムラ製作所 坂戸事業所	株式会社 若柳タムラ製作所	田村電子（惠州） 有限公司
所在地	—	埼玉県坂戸市	宮城県栗原市	中華人民共和国 広東省惠州市
面積	—	4,600㎡	6,200㎡ ※	5,000㎡
投資額	40億円	22億円	9億円	17億円
生産能力	現在年間200万台 (坂戸50万台、若柳50万台 を含む)	現在年間50万台を 150万台に拡大	計画年間50万台を 100万台に拡大	最大200万台まで 拡大予定(新設)
稼働予定	～2018年	2020年	2020年	2022年

※ 車載以外も含む工場総床面積

過去設備投資金額（～2018年まで）



2024年に向けた設備投資

2022年度
生産開始

④2022年～

設備投資金額
17億

田村電子(惠州)有限公司

2021年度
生産増強

③2019年～

設備投資金額
9億円

若柳タムラ (宮城県栗原市)

総投資合計
48億円

①2009年～

国内その他

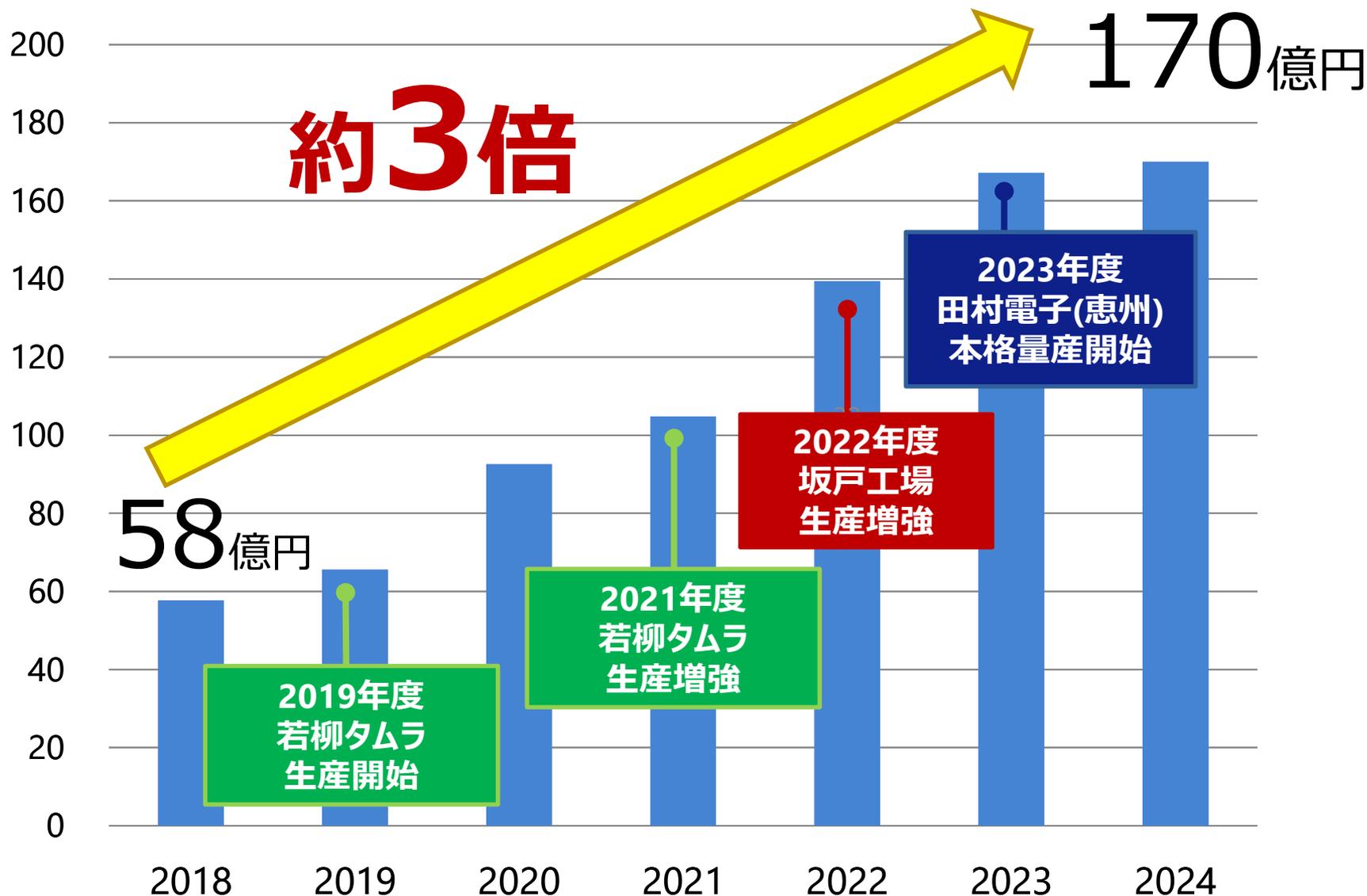
2022年度
生産増強

②2012年～

設備投資金額
22億

坂戸工場 (埼玉県坂戸市)

[億円]



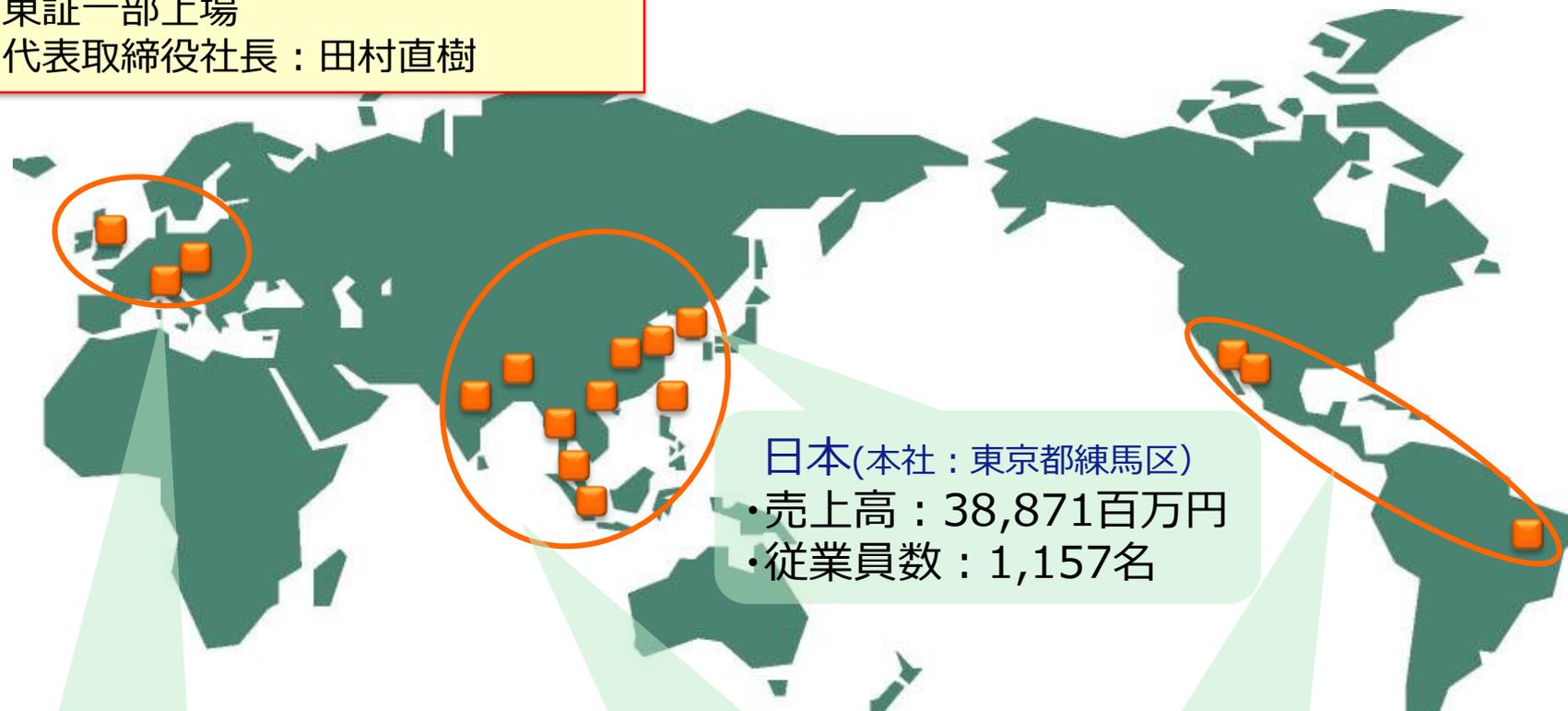
ご清聴ありがとうございました



【付録】 参考資料

資本金：11,829百万円
連結従業員数：5,410名
連結売上高：85,558百万円
東証一部上場
代表取締役社長：田村直樹

売上高：2018年3月期実績
従業員数：2018年3月現在



日本(本社：東京都練馬区)
・売上高：38,871百万円
・従業員数：1,157名

ヨーロッパ

・売上高：6,533百万円
・従業員数：264名

アジア

・売上高：36,778百万円
・従業員数：3,819名

南北アメリカ

・売上高：3,373百万円
・従業員数：170名

1924年創業

「田村ラヂオ商会」



トランスを**極**める！



電子部品関連

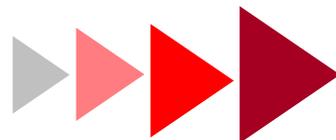


- 1956年～ カットコア
磁性材料
- 1956年～ 電源装置
- 1994年～ 圧電トランス
- 2008年～ LED 関連製品

音を**極**める！



接合技術を**極**める！



電子化学実装関連

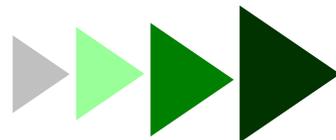


- 1956年～ フラックス
- 1957年～ リグ-ペースト
- 1961年～ レジストインク
- 1968年～ はんだ付装置

1924年～

ラジオ、蓄音機の製作・販売

いい音（信号）を**極**める！



情報機器関連



- 1961年～ 放送用
音声調整卓
- 1976年～ 伝送監視装置

1930年～

トランスの自作化

航空・宇宙で
航空機からロケット・人工衛星まで、究極の耐環境性で社会に貢献しています。



トランス・リアクタ

風力・太陽光発電・インフラで
再生可能エネルギーの発電や直流送電の効率向上などに寄与する部品・材料です。



大型トランス・リアクタ



電流センサ



弱電性接合材



白色反射材



フラックス

駅で
発着案内などの情報伝達手段として、音声・表示で鉄道運行を支えます。



LED式電光掲示板

ワイヤレスマイクロホンシステム

コンビニや店舗で
店舗サインやショーケースなど、省エネに貢献するLED光源です。



看板用LED照明

ショーケース用LED照明

街の自動販売機で
表示や商品選択だけでなく、スマートフォンとの連動など最新機能を実現します。



金額表示器

商品選択ボタン

放送局で
視聴者に届ける音声を調整する機器と、局内連絡用の無線システムです。



音声調整卓



デジタルワイヤレスカム



OFDM方式デジタルワイヤレスマイク

エコカーで

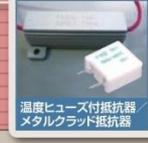
高信頼・高効率な部品・材料で、エコドライブや安心・安全を支えます。



車載用リアクタ・コイル



ソルダーレジスト



温度ヒューズ付抵抗器
メタルクラッド抵抗器



ソルダーペースト

スマートフォンやタブレットPCで
多機能化・小型化する機器の進化を支える材料です。



透明絶縁材



弱電性接合材



黒色吸収材

東北・山形・長野地域
 1 MAXとき 245号 6:46 新潟
 1 つばさ 45号 6:46 山形
 1 あさま 503号 6:46 長野
 1 MAXとき 675号 6:46 新潟

工場 ロボットや工作機械の部品、プリント配線板実装に欠かせない装置が活躍しています。



電流センサ

ゲートドライバモジュール

リアクタ

セメント抵抗器

はんだ付装置

家庭 エアコンやパソコンで使用され、省エネに寄与し、機器の安全を守る部品です。



電流センサ

電源モジュール

リアクタ

温度ヒューズ
温度ヒューズ付抵抗器



TAMURA

Bilrite Tamura

The 11th Mid-term Plan 2016-2018

GROWING

正しく豊かな成長への道筋を作る
正しく立派な製品を作る
正しい健全な経営体質を作る
正しい最適なグローバル体制を作る

Build up + right = *Bilrite*

开辟繁荣发展道路 创造优秀卓越产品 打造健全经营体质 建立最佳全球布局	Drawing a path to abundant growth Manufacturing excellent products Creating sound management Establishing the best global operation	올바르게 다양한 성장의 기초를 구축 정직하게 우수한 제품을 생산 정직하고 건전한 경영체질을 구축 올바르게 최적의 글로벌 체제를 구축
--	--	--

Bilriteとはタムラ創業期の製品である電気蓄音機・アンプに使用され、特に高級品、高品位品に付けられた由緒ある商標です。現存するカタログとして最も古い昭和12年発行のカタログ第3号の冒頭に、次のようなコメントが記されています。

「当製作所の製品にはBilriteの商標を付けてあります。是は製品に対して絶対的に責任を持つ意味であります。御買求めに際し、Bilriteの商標は品質に対する一種の保険証書として御承知置き下さい。」

創業75周年社史「21世紀へのみちしるべ」より

本資料及び引き続き行われる質疑応答の回答の際の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

株式会社タムラ製作所 経営管理本部

TEL : 03-3978-2031



Your One and Only Company